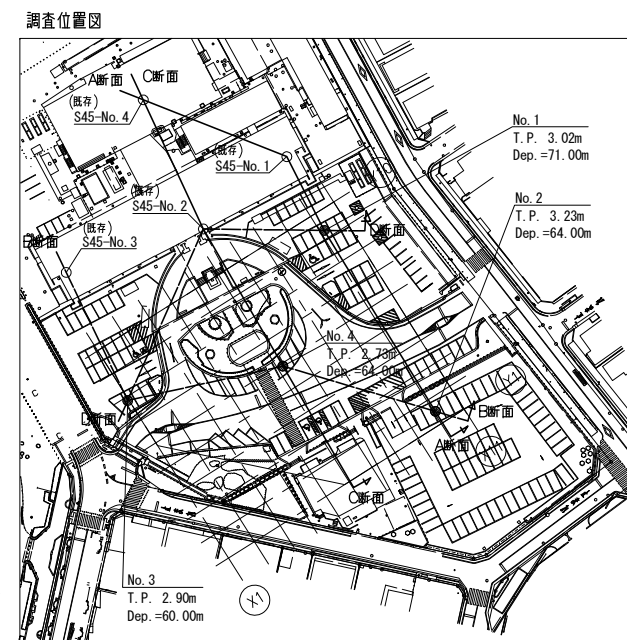
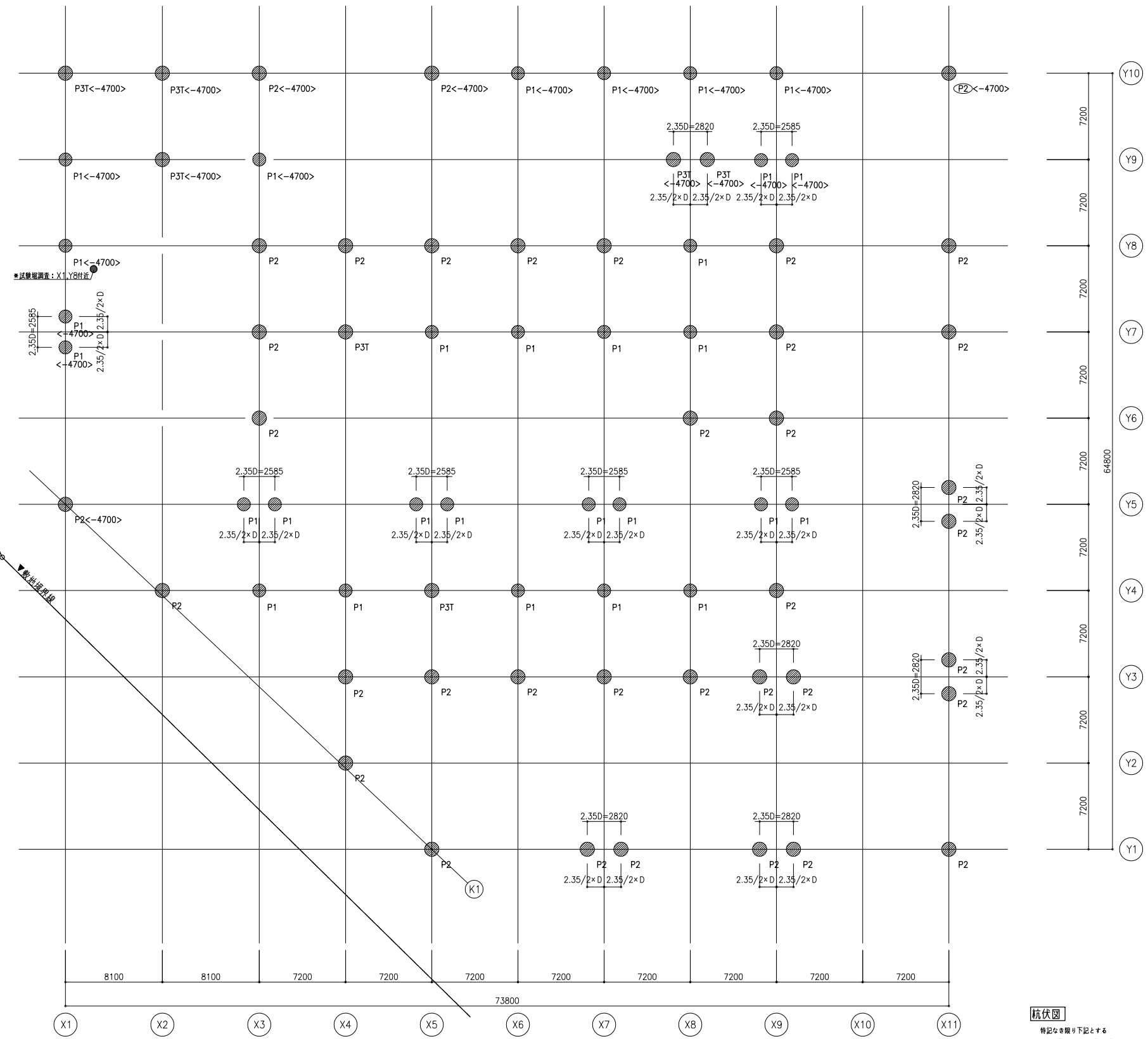


地質層序表

時代	地層名	地質名	記号
現世	埋土層	埋土	B
第四紀	有楽町層	第1砂質土	Yus1
		第2砂質土	Yus2
		粘性土	Yuc
		第3砂質土	Yus3
		粘性土	Ylc
更新世	七号地層	砂質土	Yls
		粘性土	Nac
		砂質土	Nas
		礫質土	Nag
		砂質土	Ds1
新世	下総層群	粘性土	Dc
		砂質土	Ds2





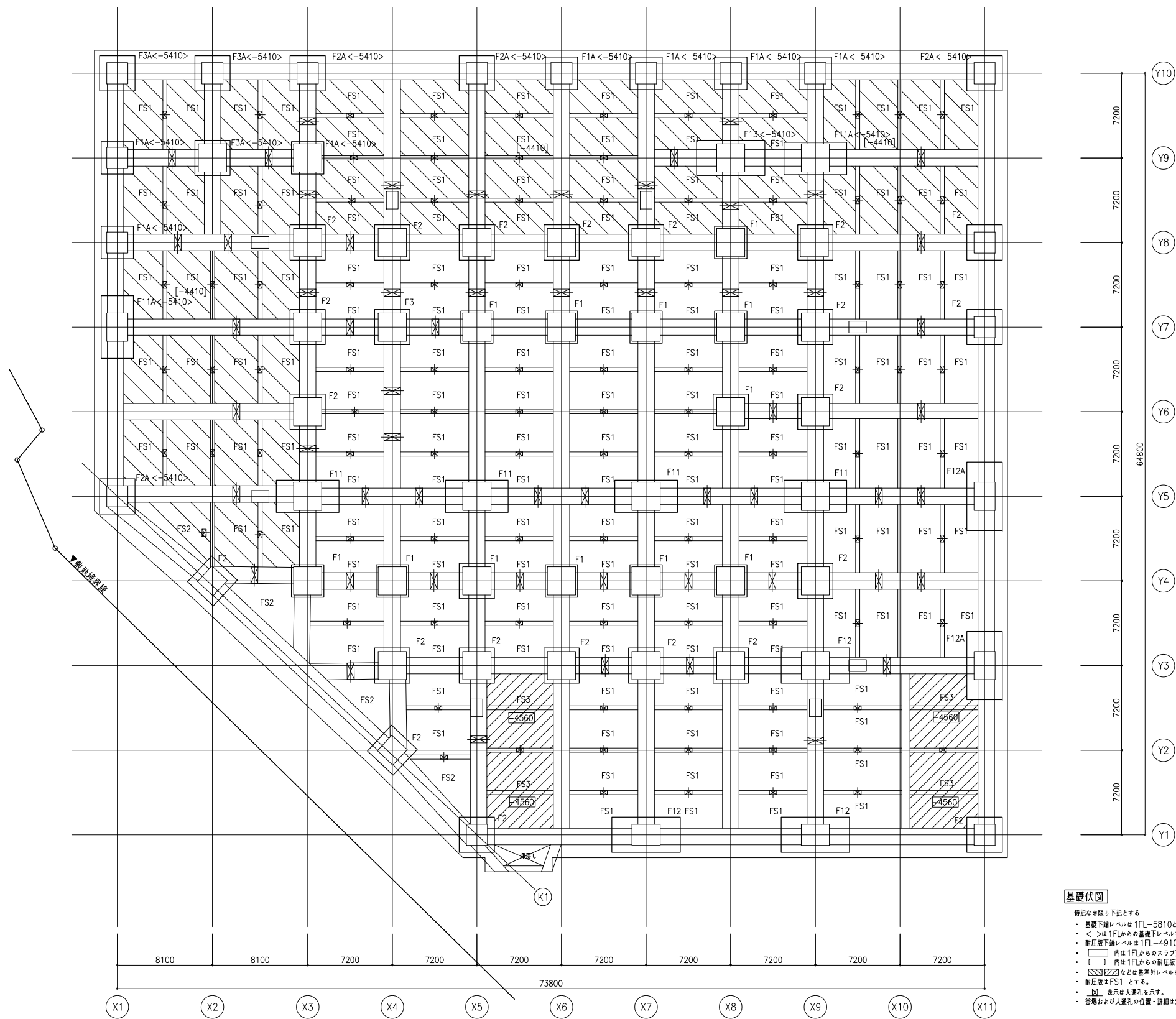
**杭リスト**

- 特記なき限り下記とする
- ・ 杭工法：中掘杭大規模工法 ( $\alpha=450, \beta=2.5, \gamma=0.3$  以上 大臣認定工法とする)
  - ・ 杭材のコンクリート強度：  $F_c=105N/mm^2$  鋼管材質はSKK490とする。
  - ・ 杭頭補強筋は開先付き異形棒鋼(大臣認定品)とする
  - ・ 杭符号“T”付きの最下部には引抜対応(短期継手有効率100%)した杭製品を使用すること。

符号	位置	杭径 D (mm)	種別	長さ (m)	全長 (m)	セット数 (本)	杭頭補強筋	長期許容支持力 (kN)
P1	上杭	φ1100	SC105-490-t25	7	48	29	18-D41 (SD490)	8900
	中杭1	φ1100	SC105-490-t9	10				
	中杭2	φ1100	PHC C種	10				
	中杭3	φ1100	PHC B種	10				
	下杭	φ1100	PHC A種	11				
P2	上杭	φ1200	SC105-490-t25	7	48	37	24-D41 (SD490)	10500
	中杭1	φ1200	SC105-490-t9	10				
	中杭2	φ1200	PHC C種	10				
	中杭3	φ1200	PHC B種	10				
	下杭	φ1200	PHC A種	11				
P3T	上杭	φ1200	SC105-490-t25	8	48	7	24-D41 (SD490)	10500
	中杭1	φ1200	SC105-490-t9	10				
	中杭2	φ1200	PHC C種	10				
	中杭3	φ1200	PHC B種	10				
	下杭	φ1200	PHC B種	10				
計：73								

**杭伏図**

- 特記なき限り下記とする
- ・ 杭頭レベルは1FL-5100とする。
  - ・ <>は1FLからの杭頭レベルを示す。
  - ・ ○は試験杭の位置とする。
  - ・ 1FL-51m以上の細砂層を支持地盤処理レベルとし、1FL-53.1m以下を杭先埋レベルとする。

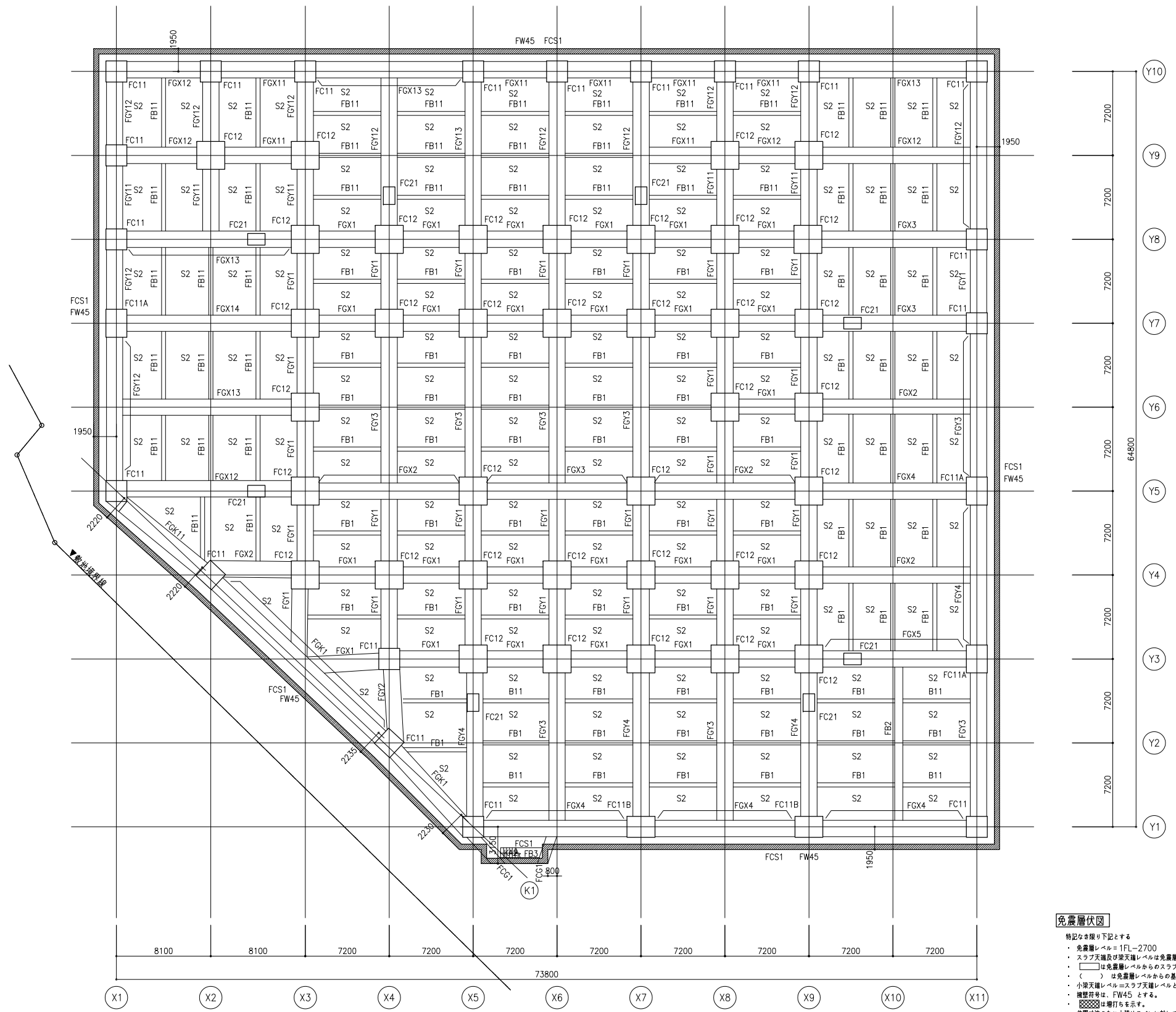


**基礎伏図**

- 特記なき限り下記とする
- 基礎下層レベルは1FL-5810とする。
  - < >は1FLからの基礎下層レベルを示す。
  - 削土下層レベルは1FL-4910とする。
  - [ ]内は1FLからのスラブ下層レベルを示す。
  - { }内は1FLからの削土下層レベルを示す。
  - 斜線はFS1とする。
  - 表示は人通孔を示す。
  - 各欄および人通孔の位置・詳細は要図による。



履歴														

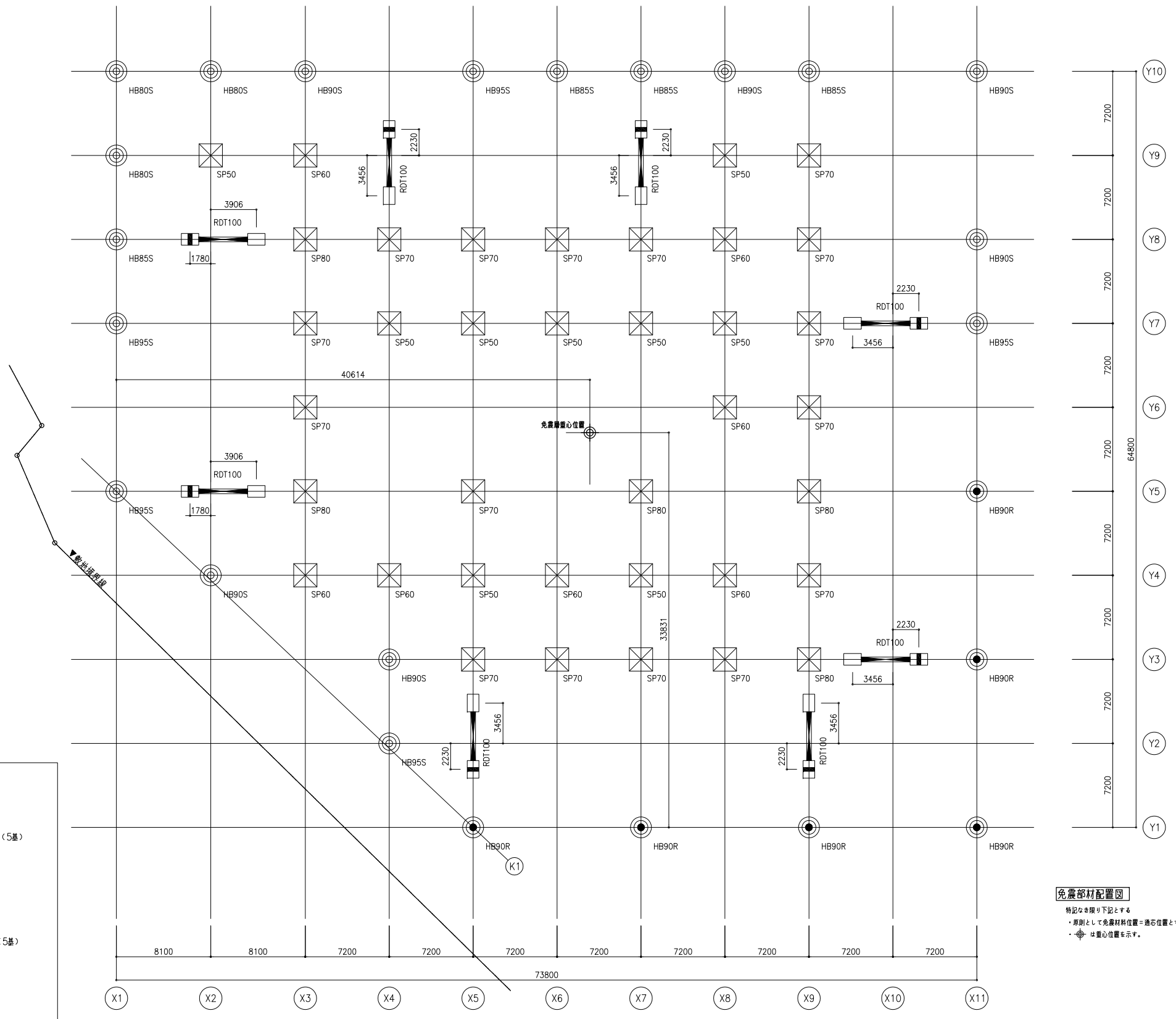


**免震層伏図**

特記なき限り下記とする

- ・ 免震層レベル=1FL-2700
- ・ スラブ天端及び梁天端レベルは免震層レベル+10とする。
- ・ □ は免震層レベルからのスラブ天端レベルを示す。
- ・ ( ) は免震層レベルからの基礎梁天端レベルを示す。
- ・ 小袋天端レベルはスラブ天端レベルとする。
- ・ 補強符号は、FW45 とする。
- ・ ⊗ は単打を示す。
- ・ 位置寸法のない小袋はスパンに対して均等配置とする。

履歴											

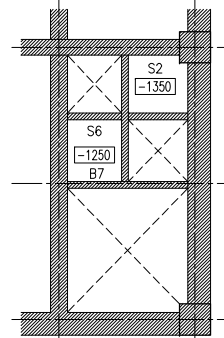
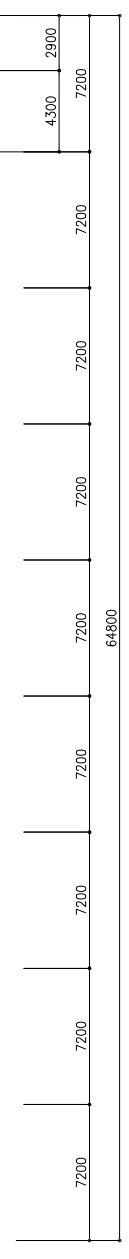
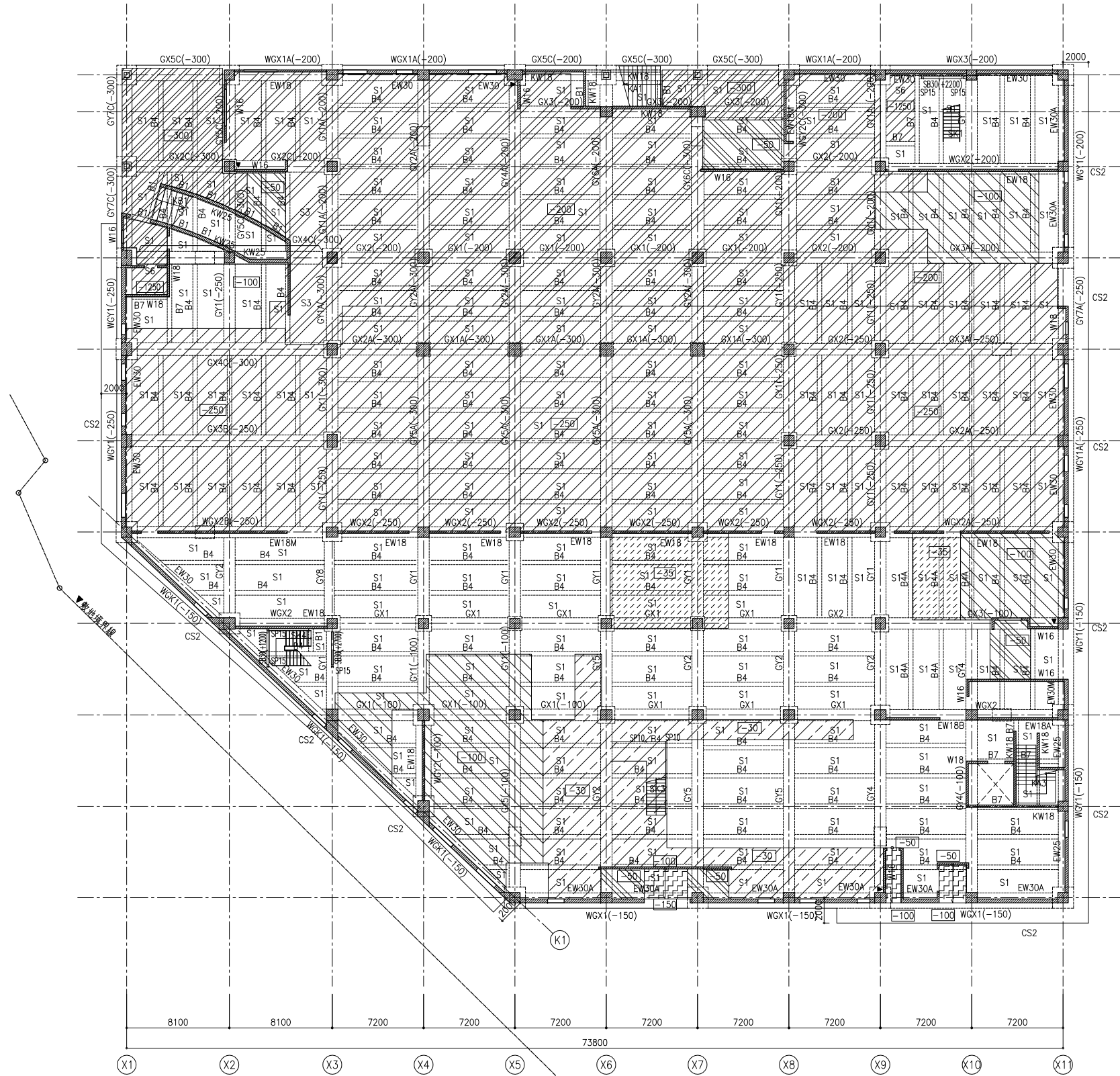


<凡例>

- 高減衰ゴム系積層ゴム (X0.4S)  
HB80S (3基) HB85S (4基) HB90S (6基) HB95S (5基)
- 高減衰ゴム系積層ゴム (X0.6R)  
HB90R (6基)
- 弾性すべり支承  
SP50 (9基) SP60 (7基) SP70 (16基) SP80 (5基)
- 建物側反力柱
- 基礎側反力柱
- 減衰芯ま  
RDT100 (8基)

**免震部材配置図**  
 特記なき限り下記とする  
 ・原則として免震材材位置=連芯位置とする。  
 ・ は重心位置を示す。

履歴											

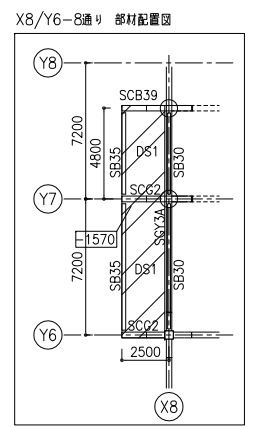
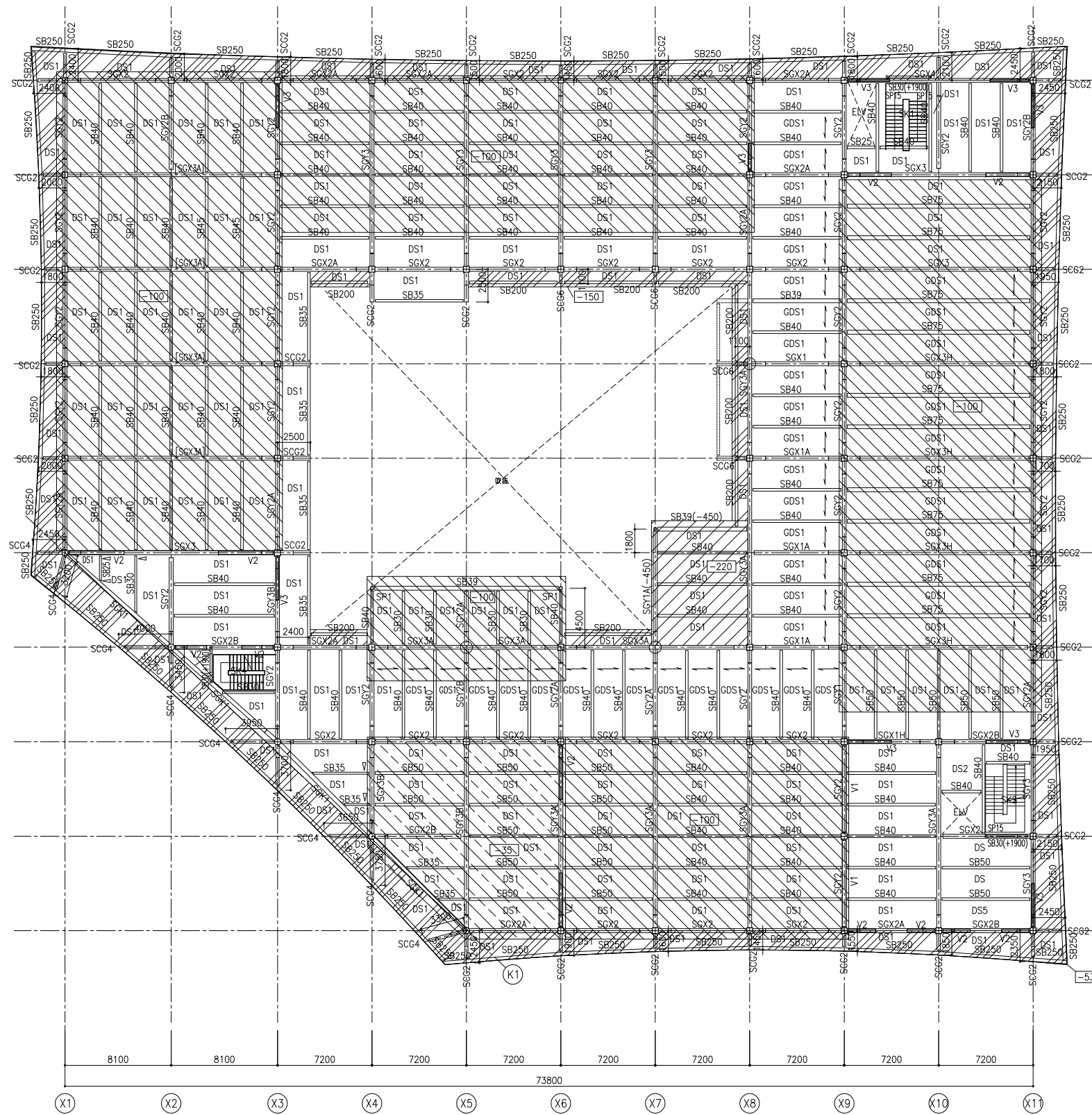


1階床伏図

- 特記なき限り下記とする
- ・ 1FL=設計GL+100
  - ・ スラブ天端レベルは1FL-10とする。
  - ・ □は1FLからのスラブ天端レベルを示す。
  - ・ ▨は基礎外レベルを示す。
  - ・ ○はスラブ加配を示す。
  - ・ RC天端天端レベルは1FL-50とする。
  - ・ ( )内は1FLからのRC天端レベルを示す。
  - ・ 小梁天端レベルは取り付くスラブ天端レベルとする。
  - ・ RC壁符号は W16 とし、墨線口は軸組図を参照のこと。
  - ・ ▼はRC壁スリット位置を示す。
  - ・ ⊠は床開口を示す。
  - ・ 梁天端レベルとスラブ天端レベルが異なる場合は梁上端を天端まで押し打ちとする。

1階床(二重スラブ部分)伏図



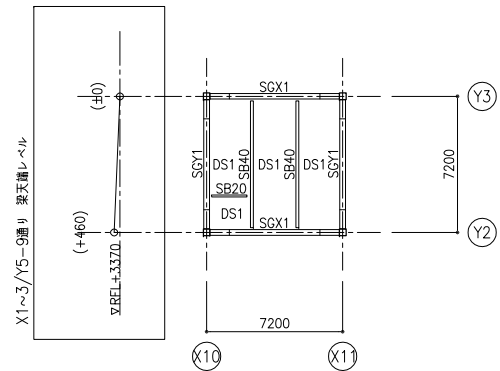
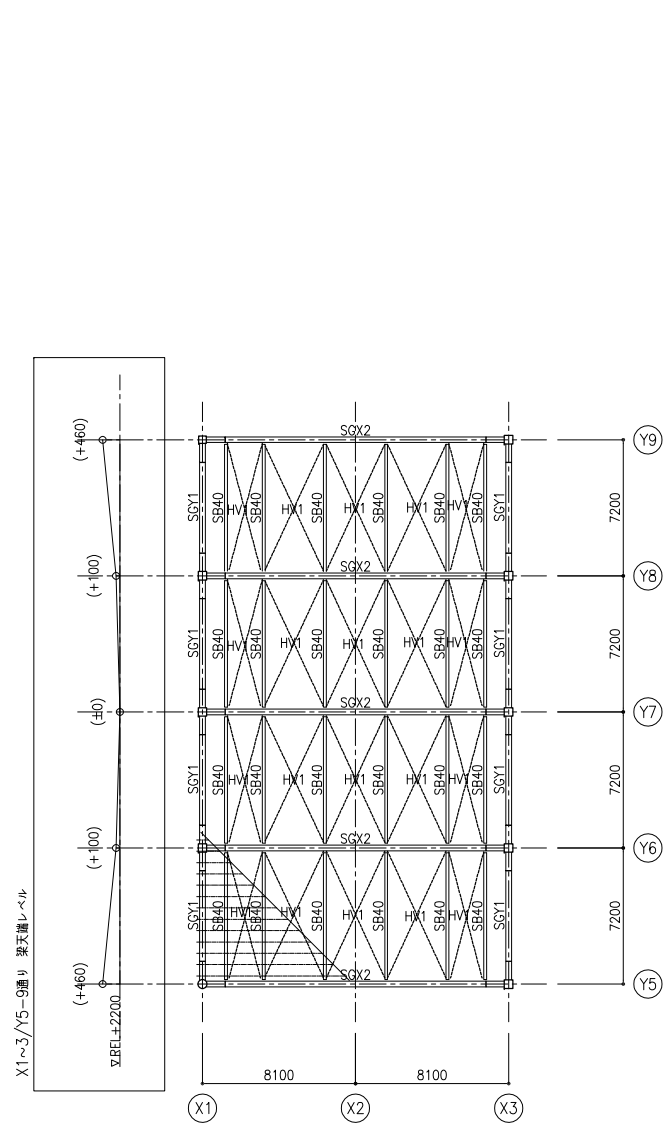


- 3階床伏図**
- 特記なき限り下記とする
  - 3FL=設計GL+9300 (=2FL+5000)
  - スラブ天端レベルは3FL-10とする。
  - は3FLからのスラブ天端レベルを示す。
  - ▨などは基準外レベルを示す。
  - 鉄骨大梁天端レベルは3FL-250とする。
  - ( )内は3FLからの鉄骨梁天端レベルを示す。
  - 鉄骨小梁天端レベルは取り付くスラブの下端レベルとする。
  - は床開口を示す。
  - 梁天端レベルとスラブ天端レベルが異なる場合は梁上端に差上げPLを設ける。
  - は鉄骨梁の端部が剛接合の箇所を示す。
  - 鉄骨梁ジョイント位置は、通りから1200の位置とする。
  - は一方方向スラブの荷重伝達方向を示す。
  - [ ]が取り付く鉄骨大梁には結構明略工法を適用すること。
  - ▽は結構補剛の斜材取付位置を示す。

履歴	



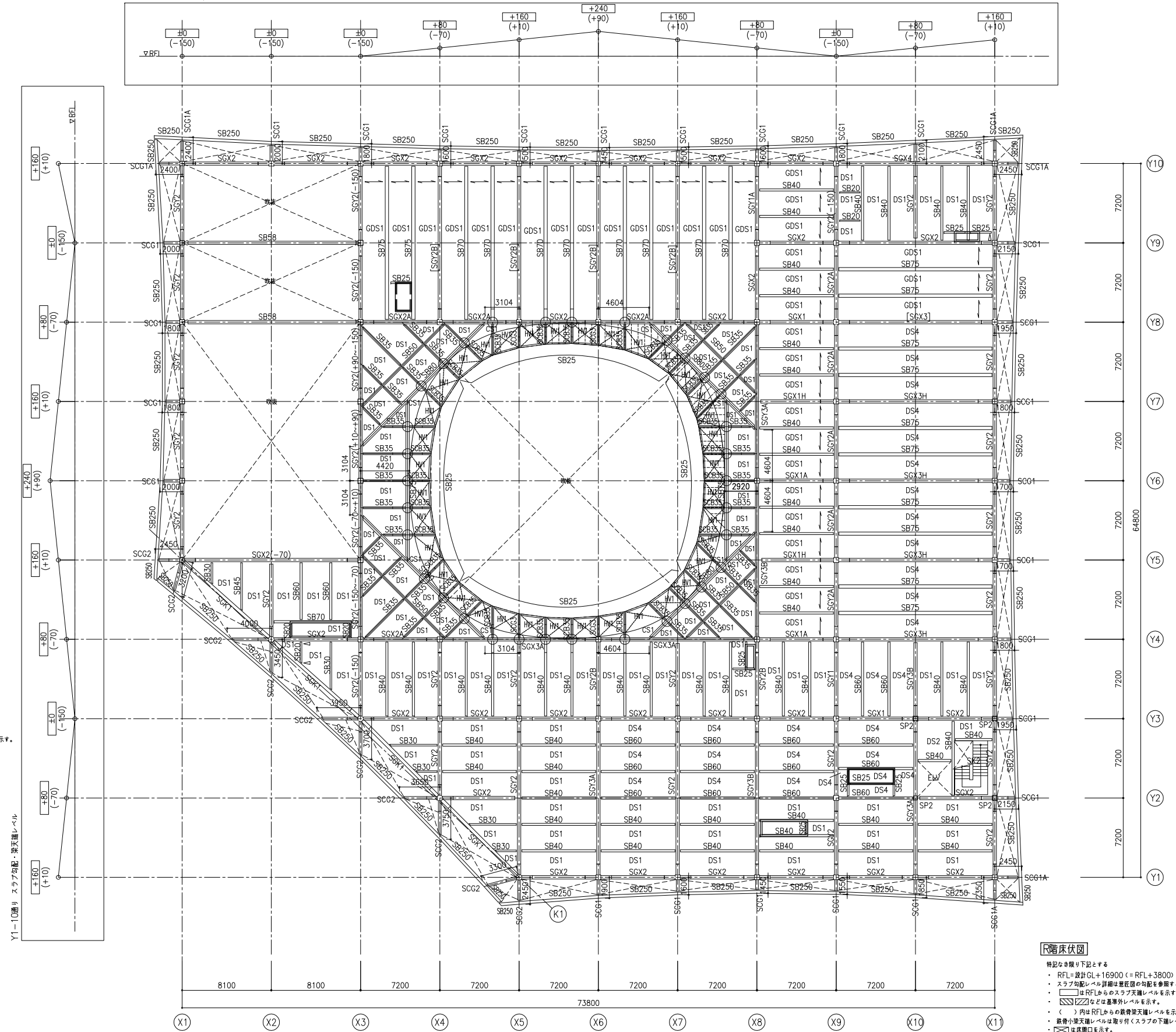




屋根伏図

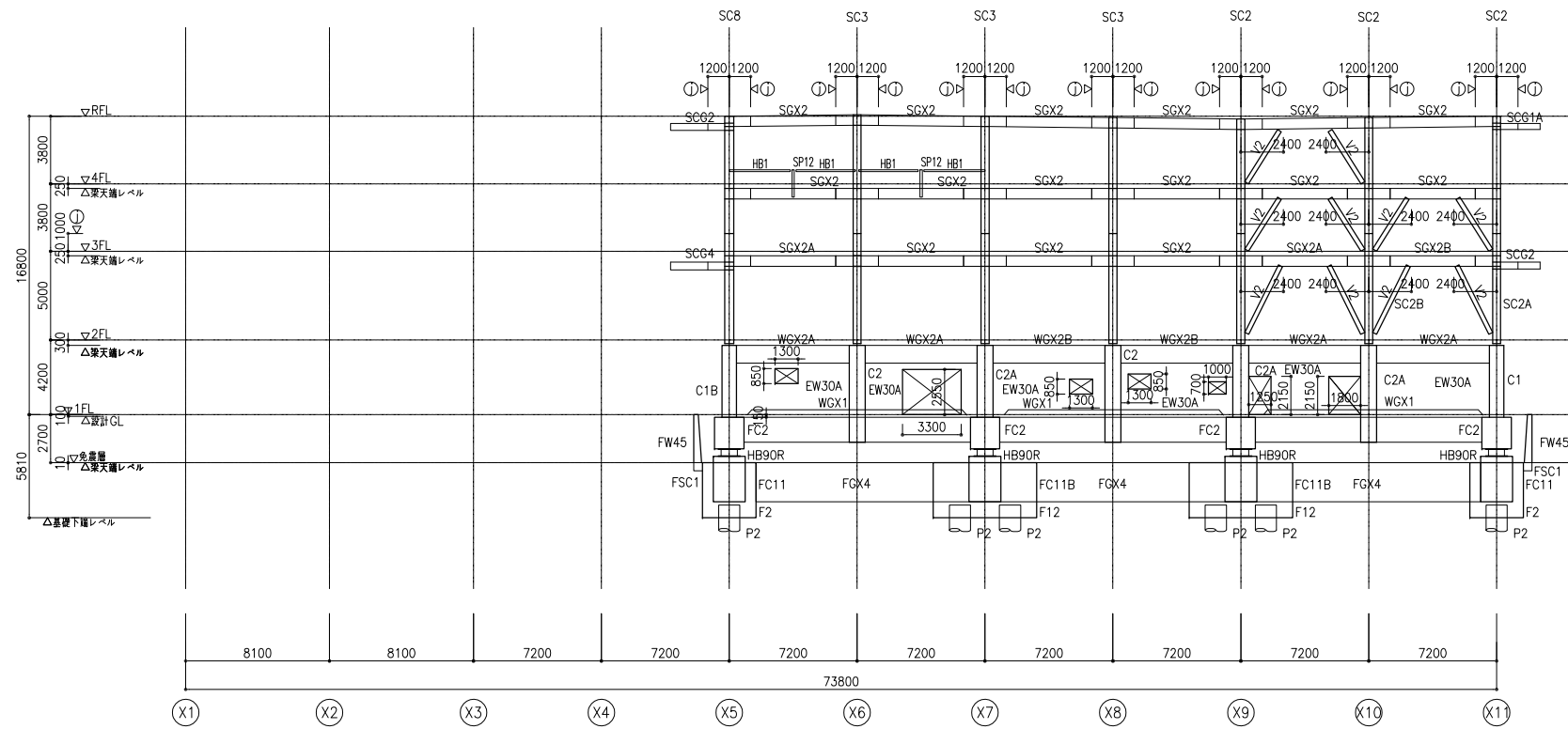
特記なき限り下記とする  
 □ はRFLからのスラブ天端レベルを示す。  
 ( ) 内はRFLからの鉄骨梁天端レベルを示す。  
 ○ は鉄骨梁ジョイント位置は、通り筋から1200の位置とする。  
 — は母屋C-100x50x20x2.3@455(φ1820+ダブル)を示す。  
 接合部はG.PL-6 中ボルト2-M16とし、母屋同士の間接合部はG.PL-6 中ボルト1-M16とする。

X1-11通り スラブ勾配・梁天端レベル



R階床伏図

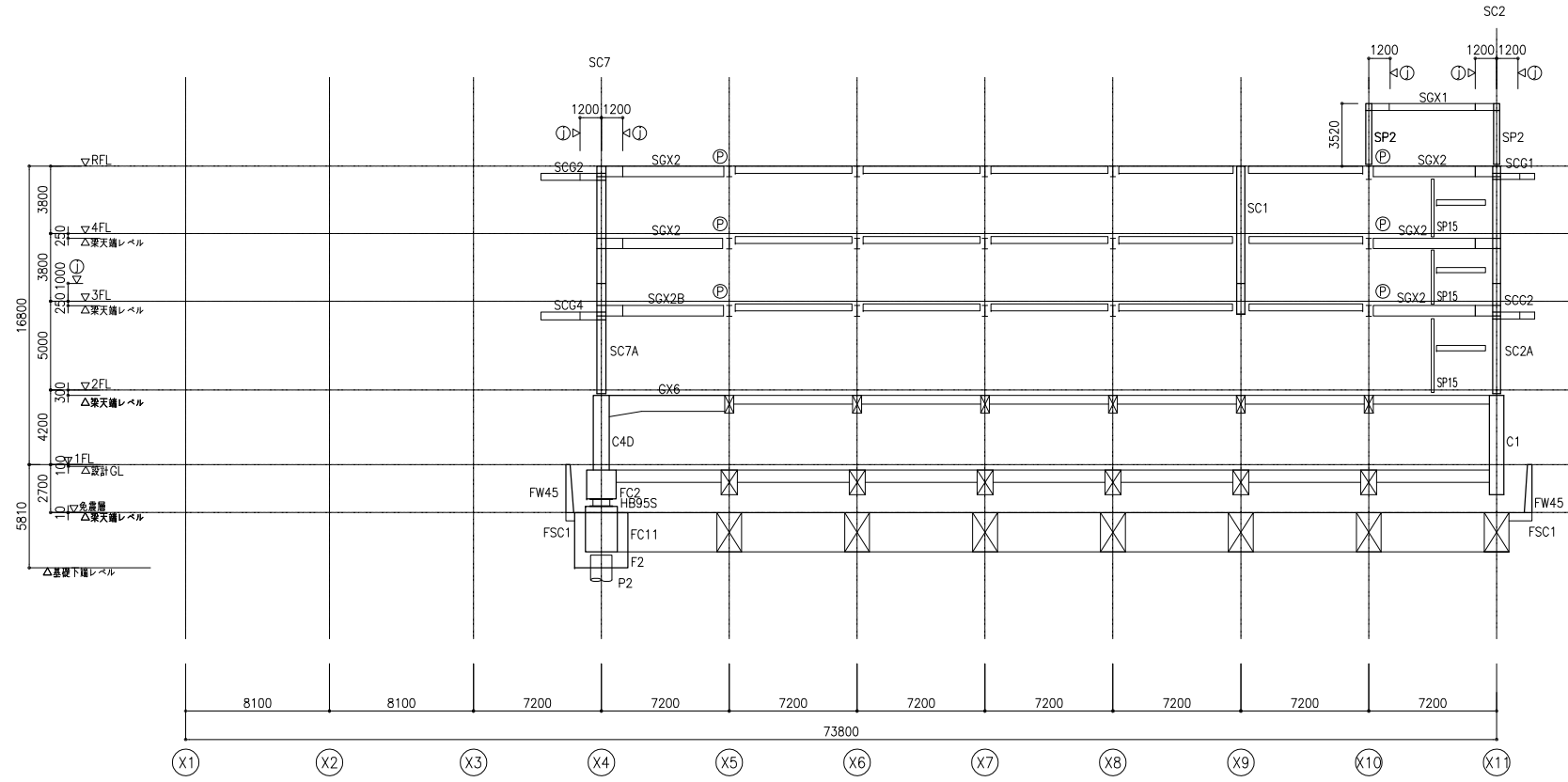
特記なき限り下記とする  
 □ RFL=設計GL+16900 (=RFL+3800)  
 スラブ勾配レベル詳細は断面図を参照すること。  
 ( ) 内はRFLからのスラブ天端レベルを示す。  
 ○ は鉄骨梁ジョイント位置は、通り筋から1200の位置とする。  
 — は母屋C-100x50x20x2.3@455(φ1820+ダブル)を示す。  
 接合部はG.PL-6 中ボルト2-M16とし、母屋同士の間接合部はG.PL-6 中ボルト1-M16とする。  
 [ ] は取り付く鉄骨大梁には編組鋼管溶接工法を適用すること。  
 ▽ は編組鋼管の材料取付位置を示す。



Y1通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

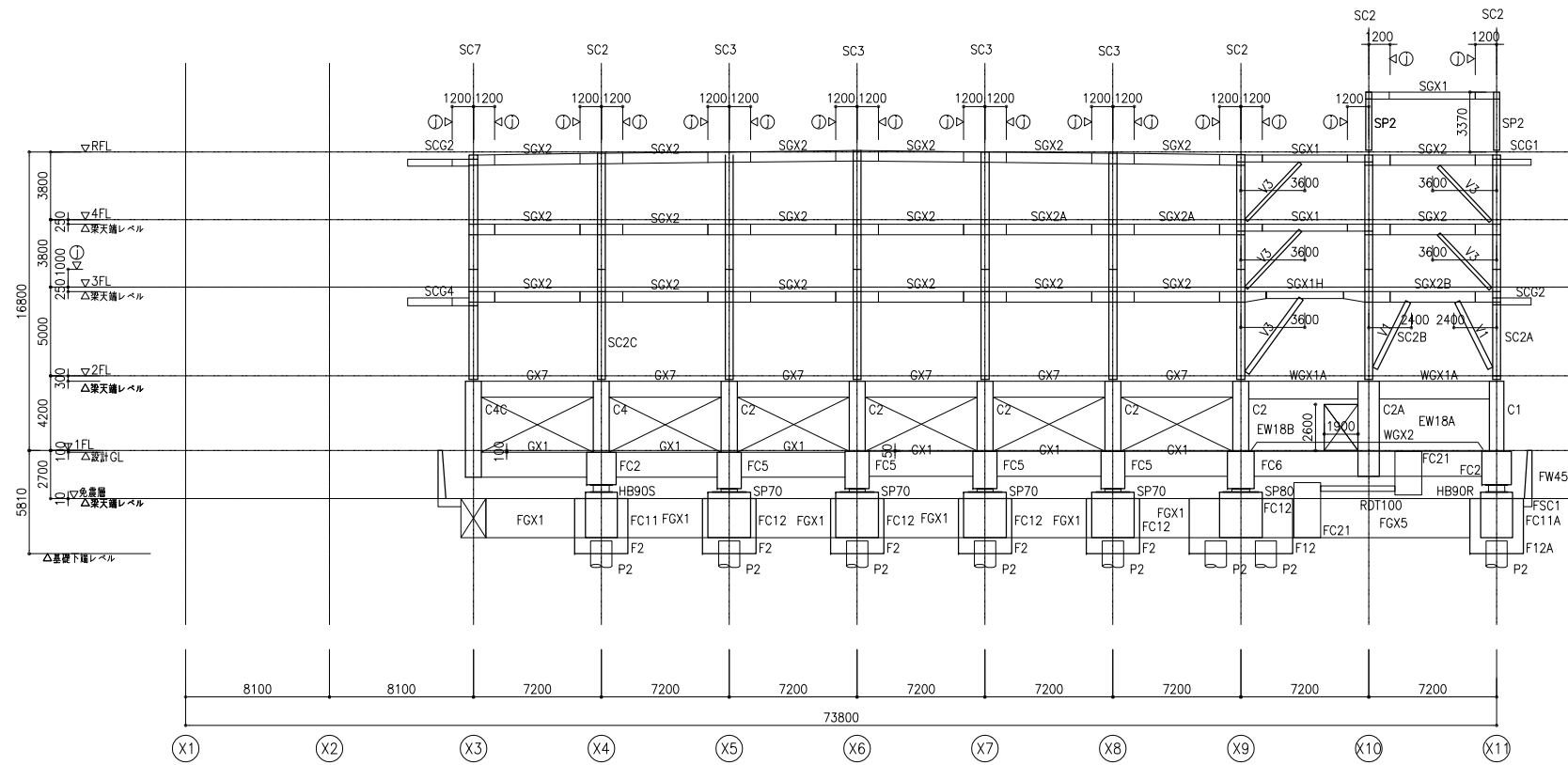
1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は補部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



Y2通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

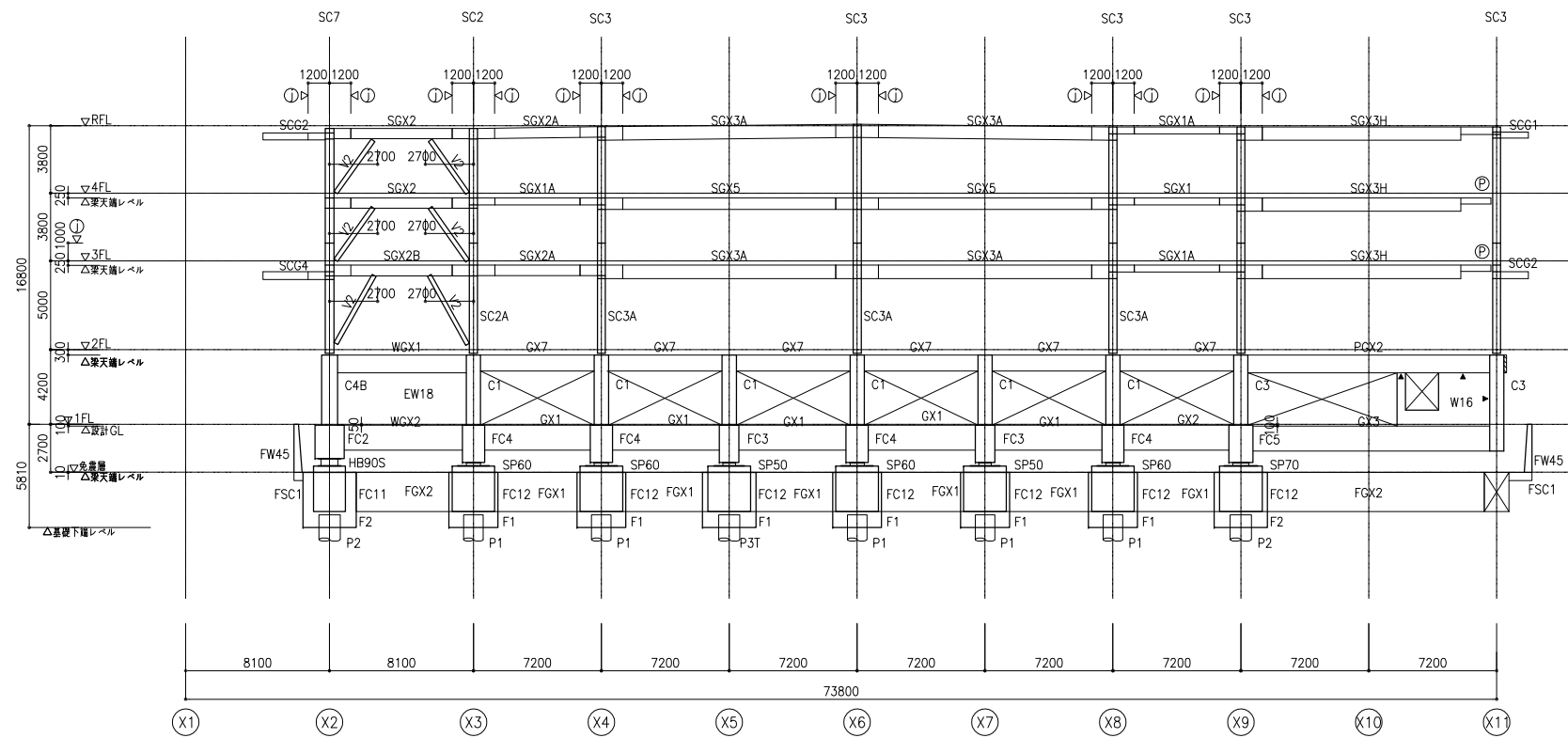
1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は補部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



Y3通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

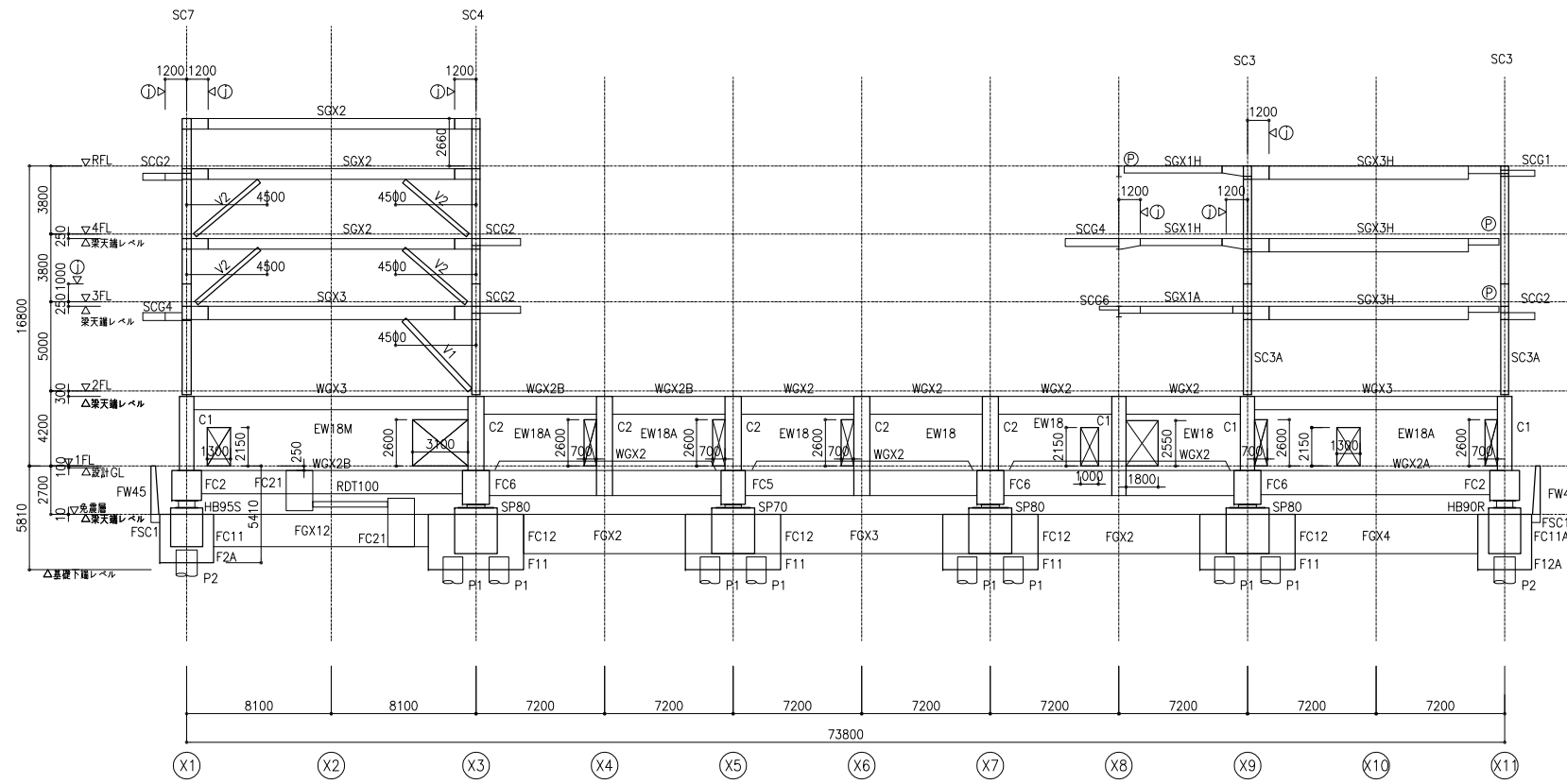
1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は補部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



Y4通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

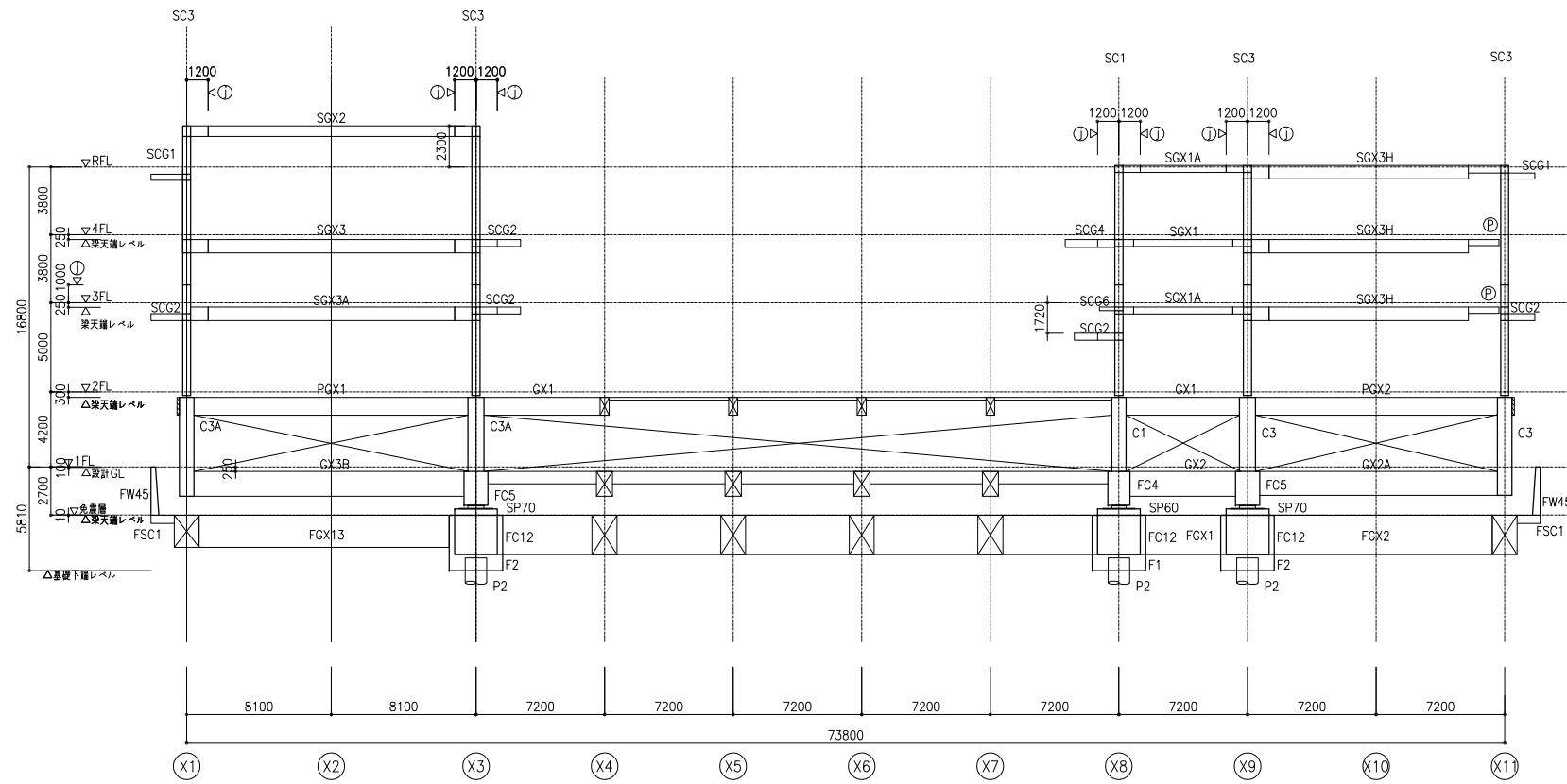
1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は補部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



Y5通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は補部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。

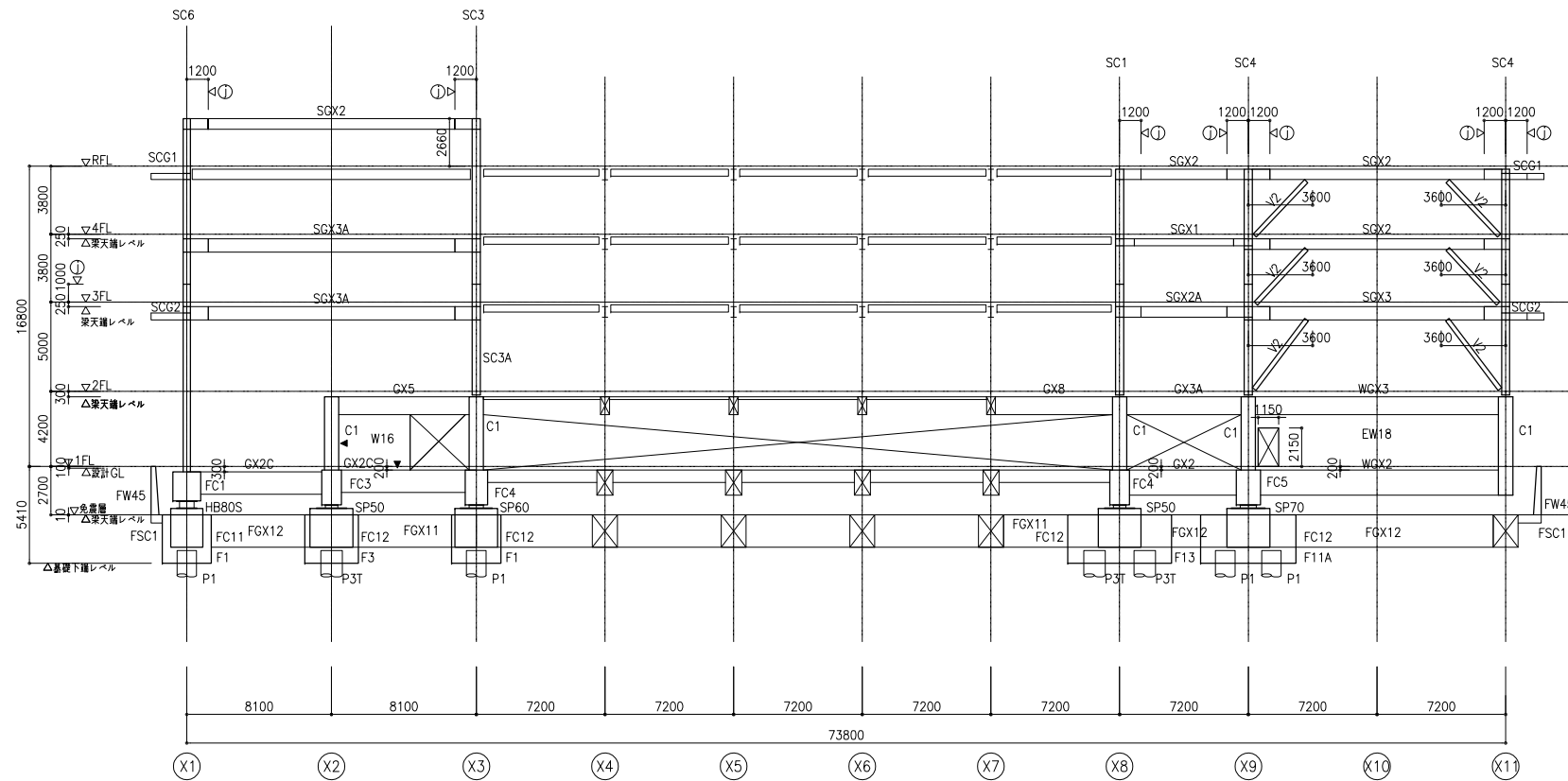


Y6通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は補部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。

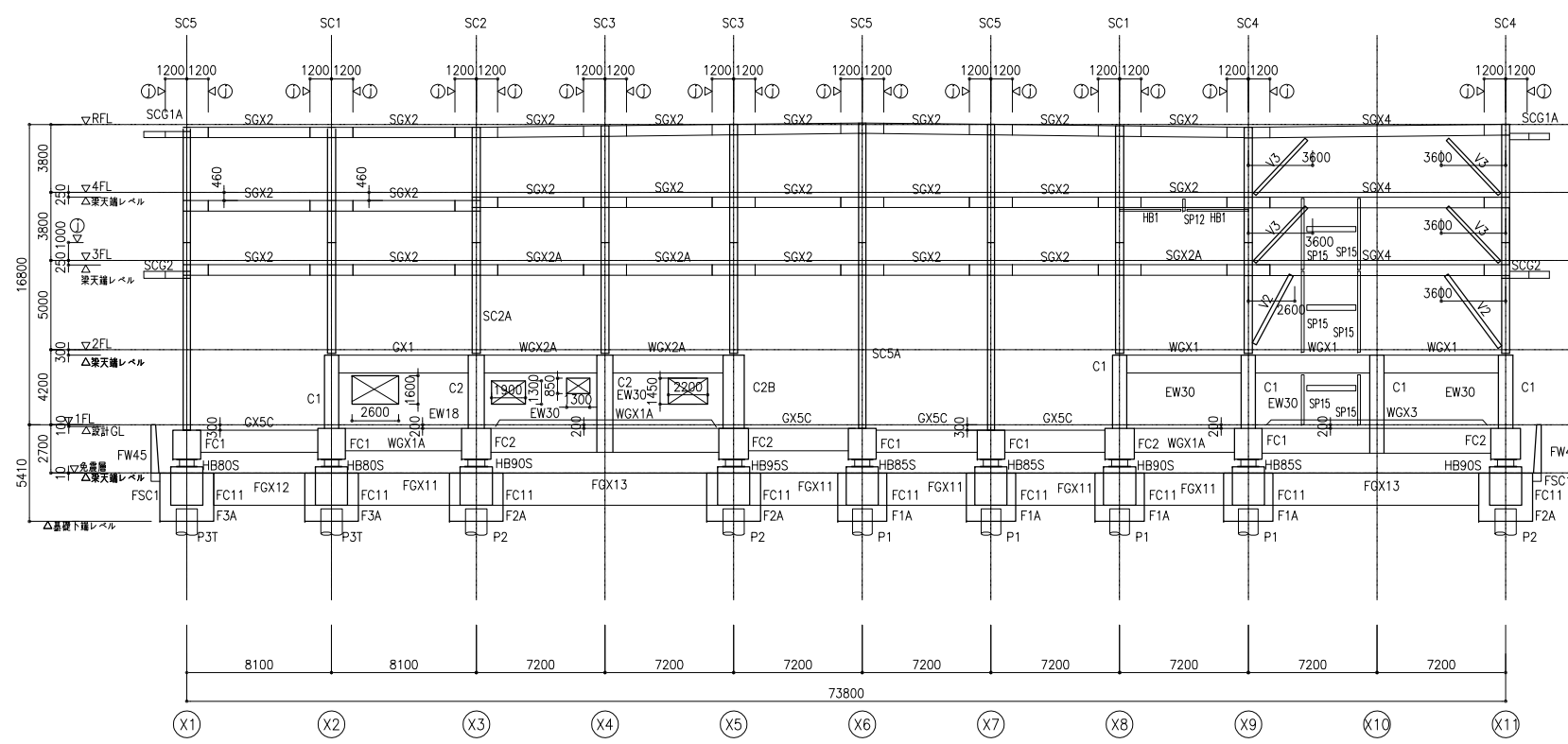




Y9通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は端部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



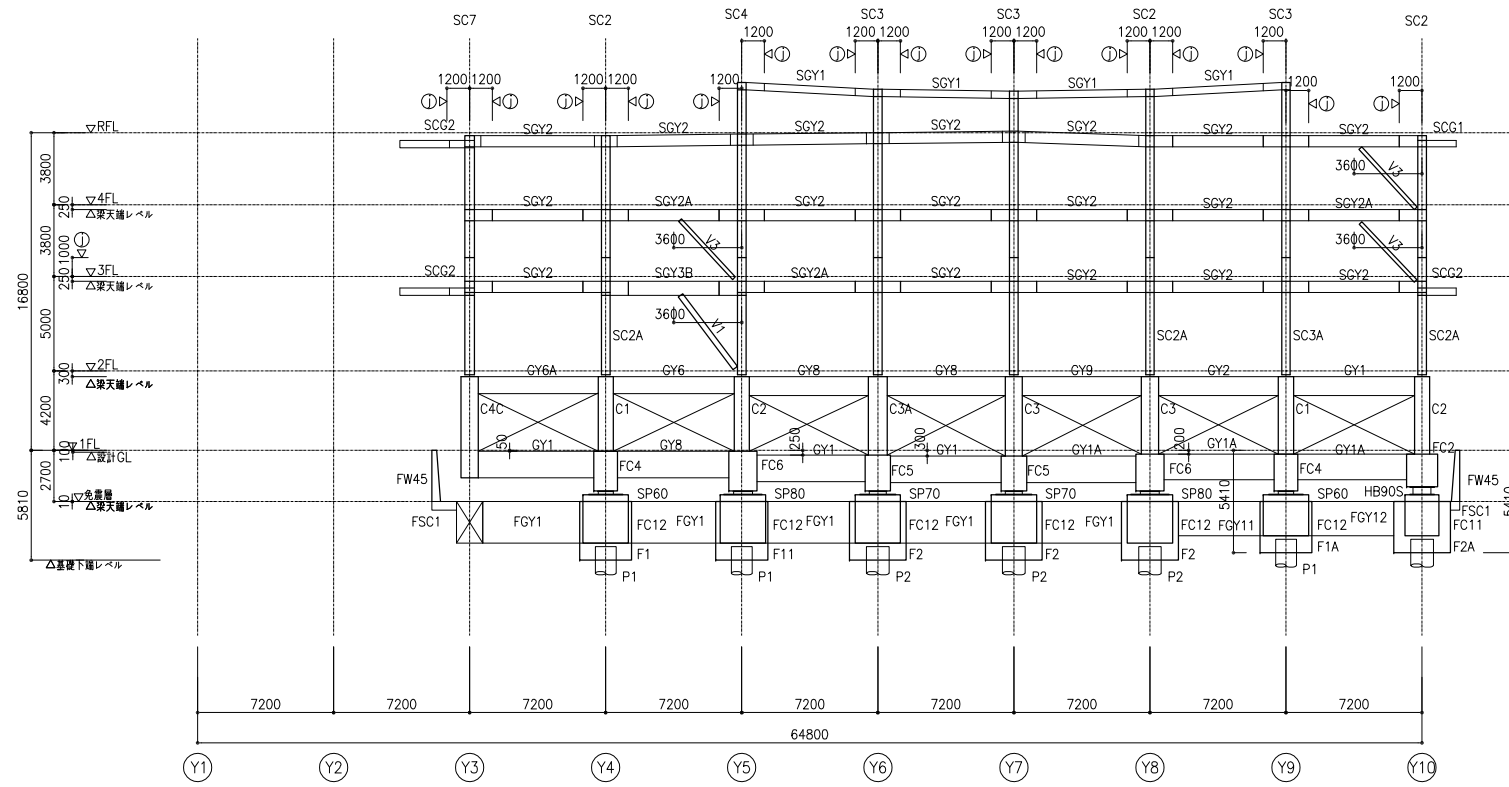
Y10通り軸組図

■特記事項 (特記なき限り下記による。)

1. は増し打ちを示す。
2. は継手位置を示す。
3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
4. は端部ピン接合部を示す。
5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。

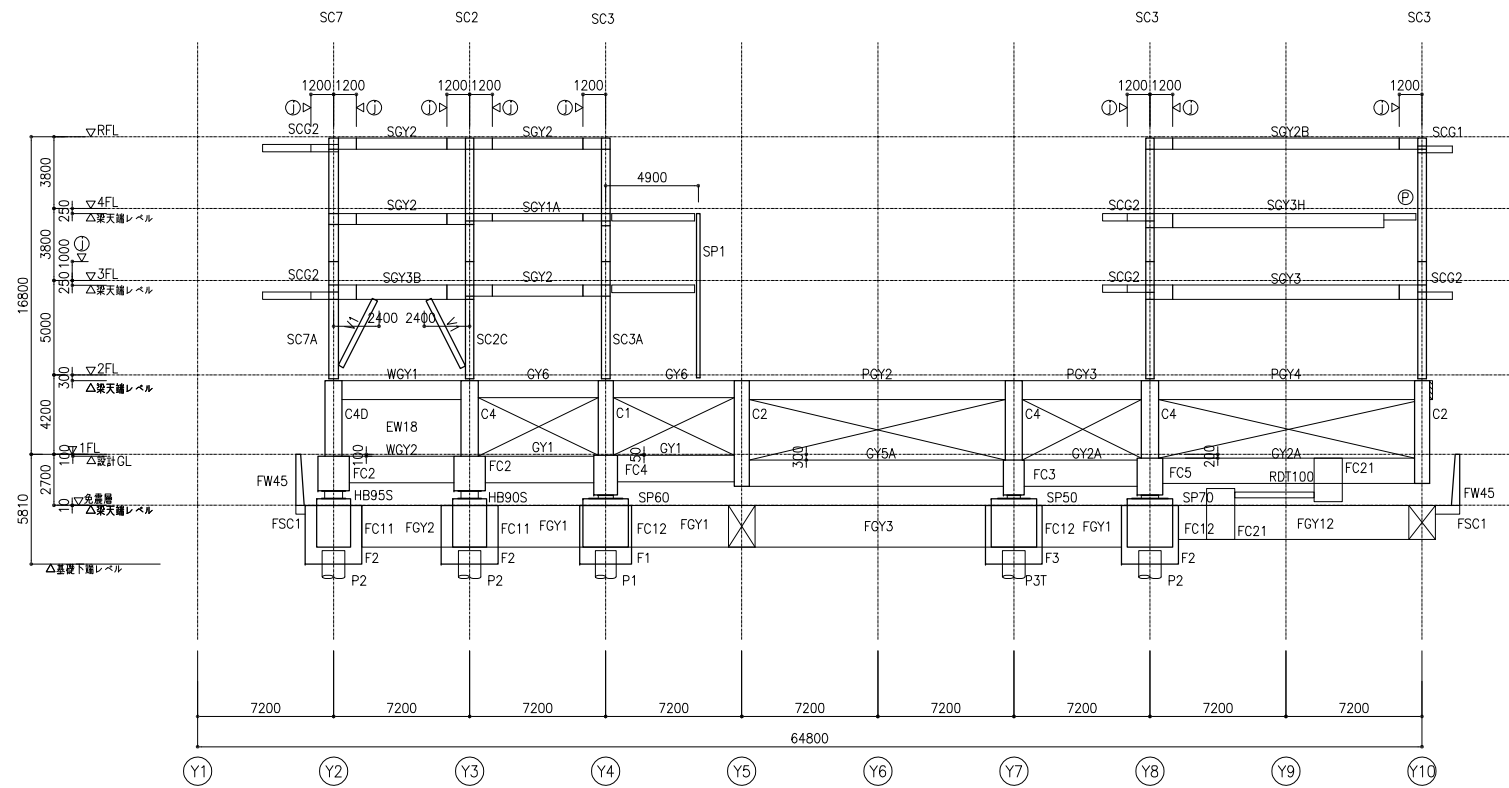






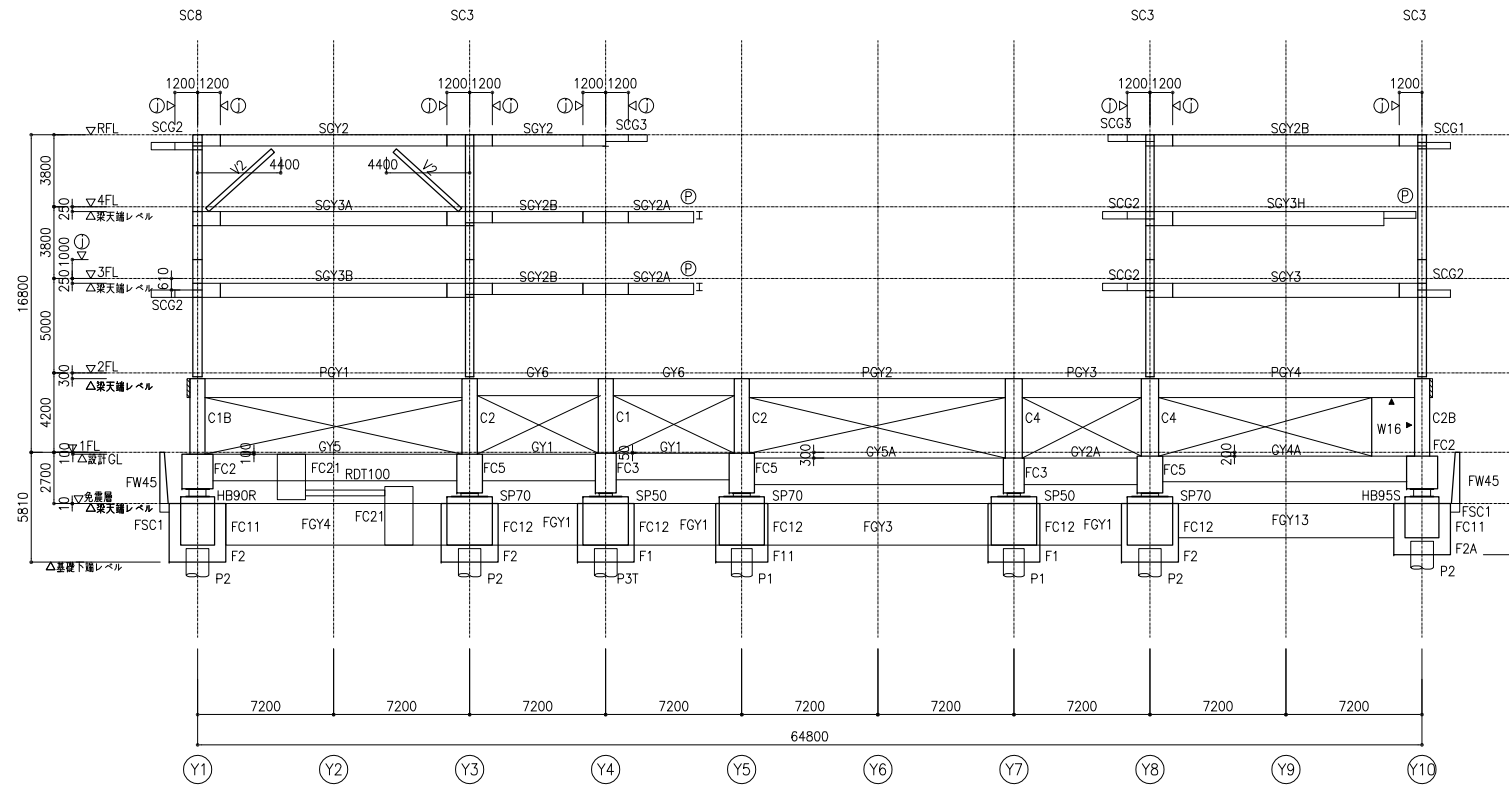
X3通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



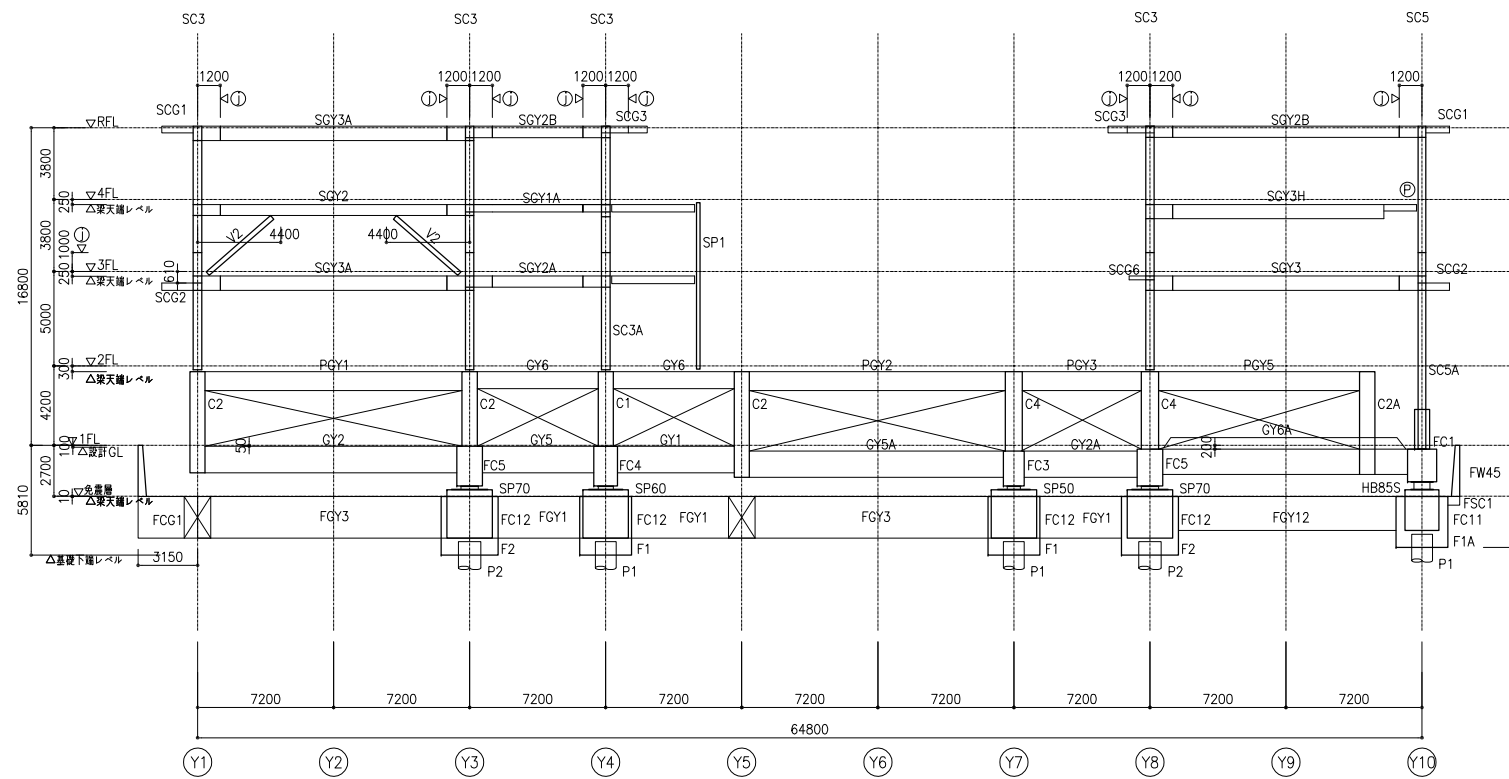
X4通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



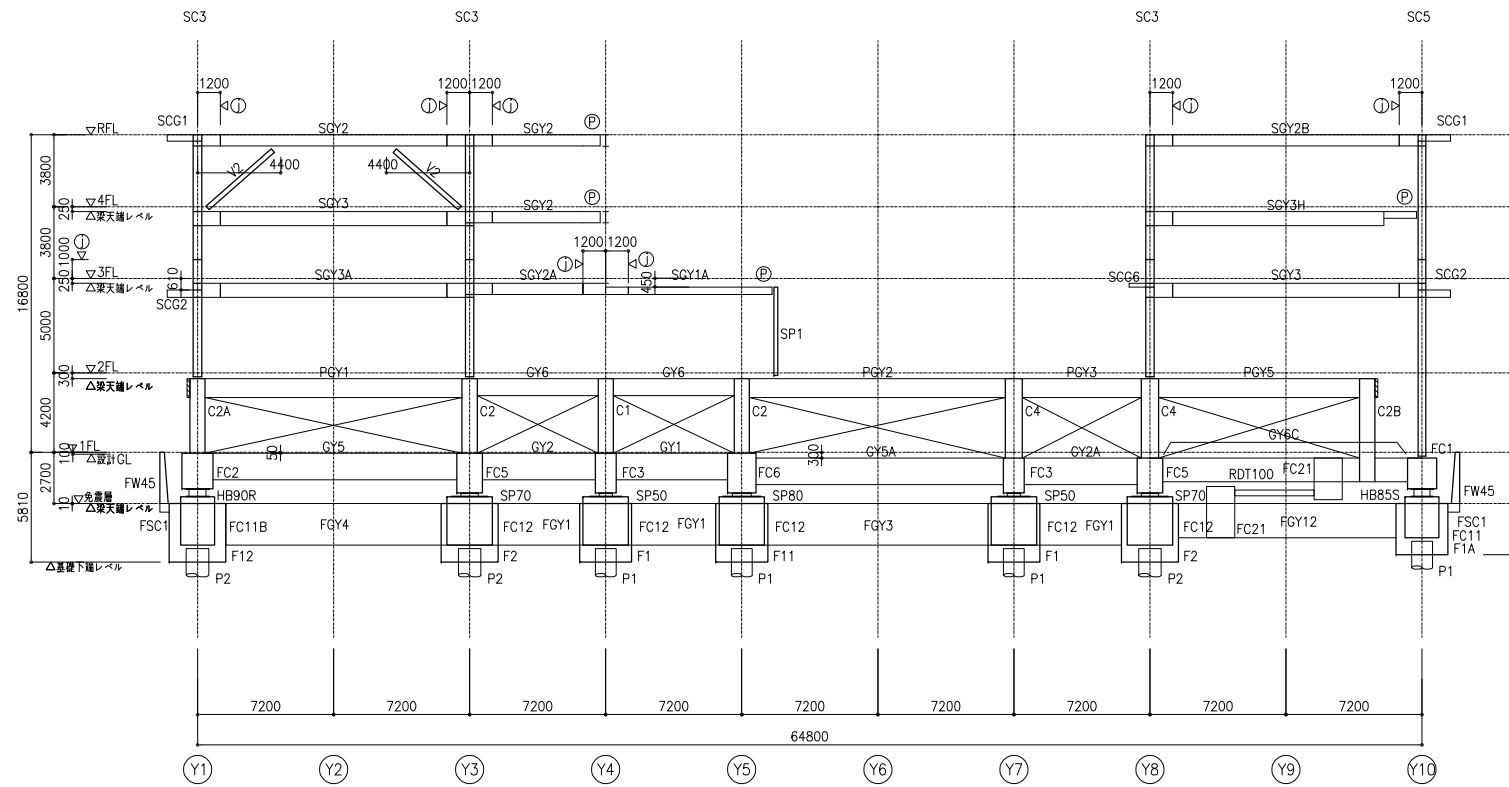
X5通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



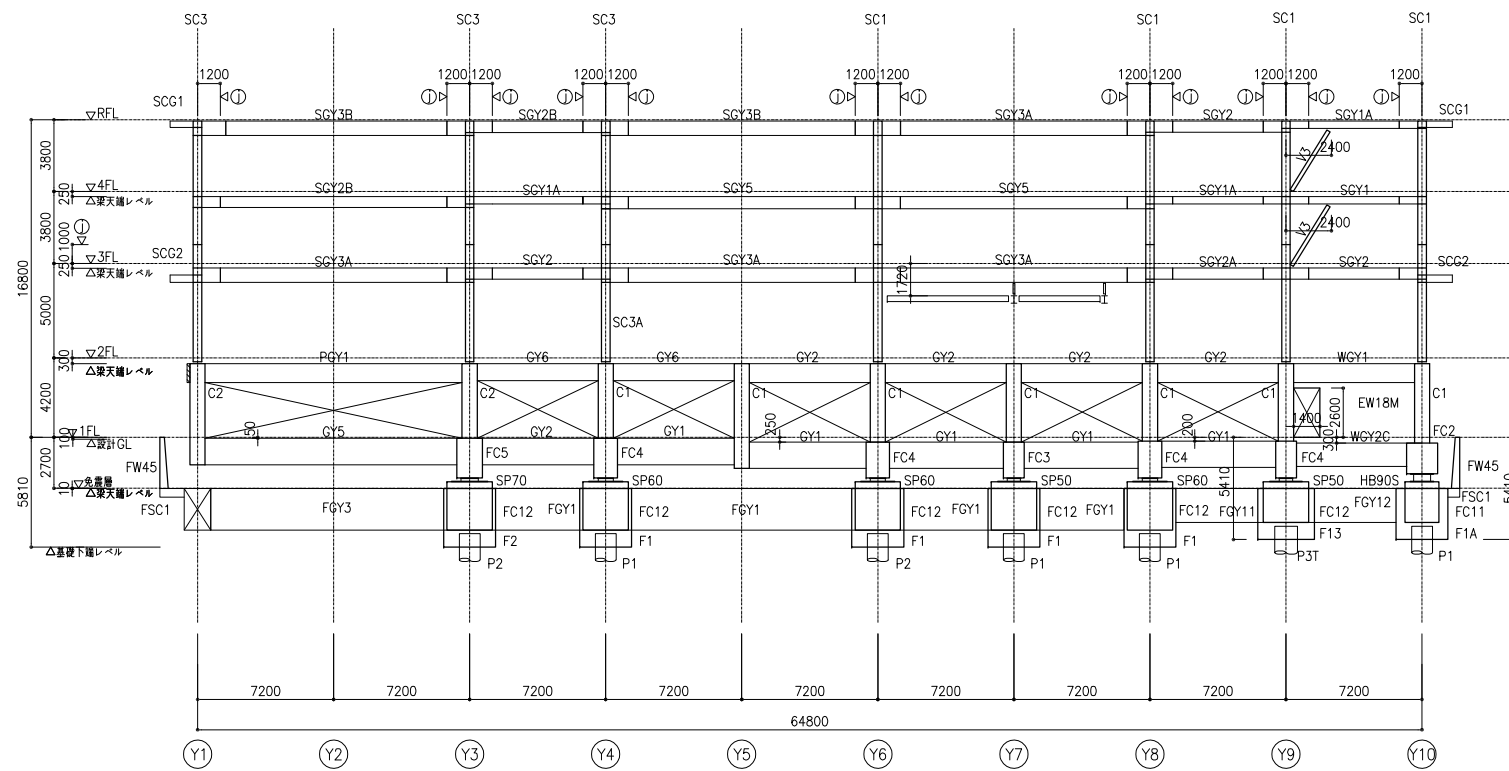
X6通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



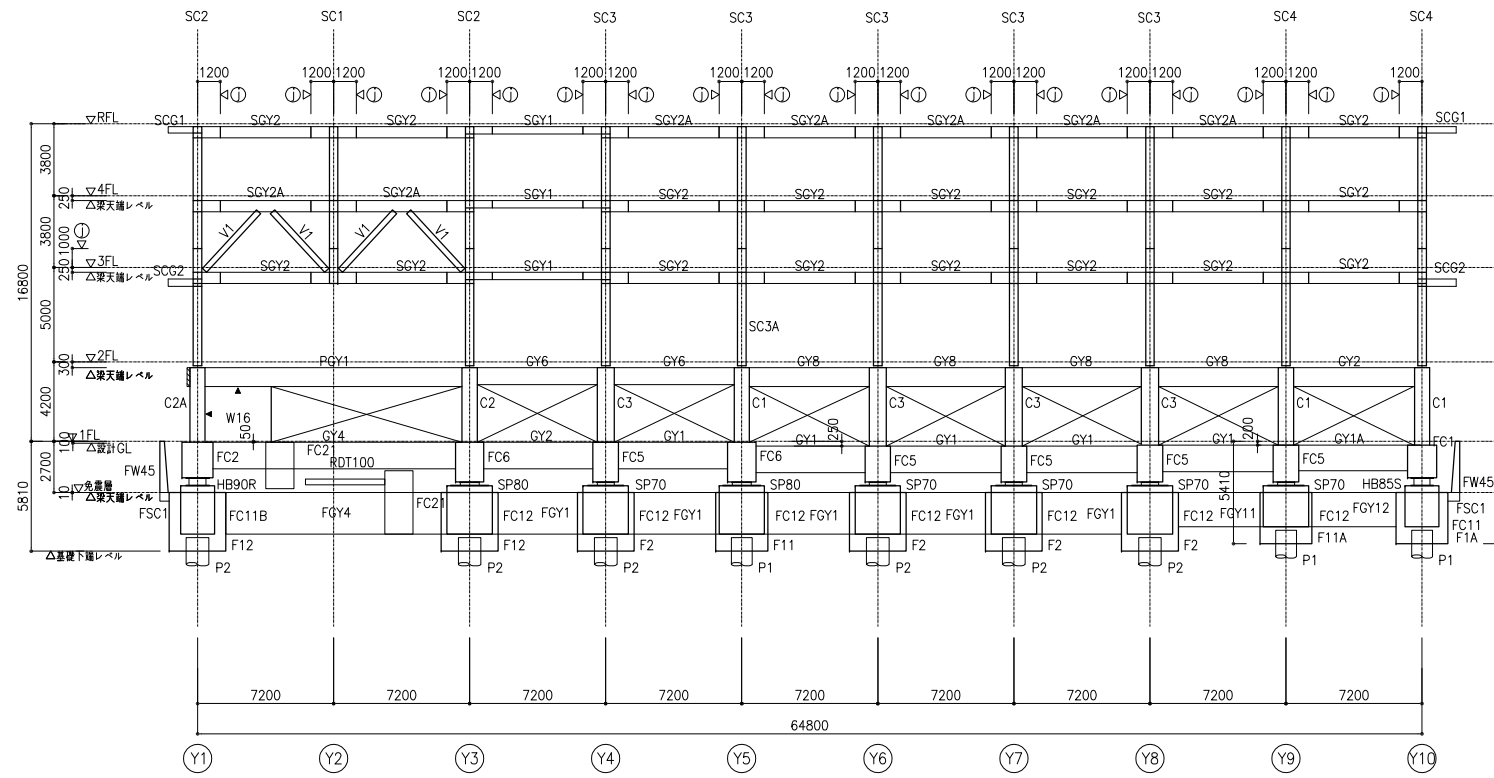
X7通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



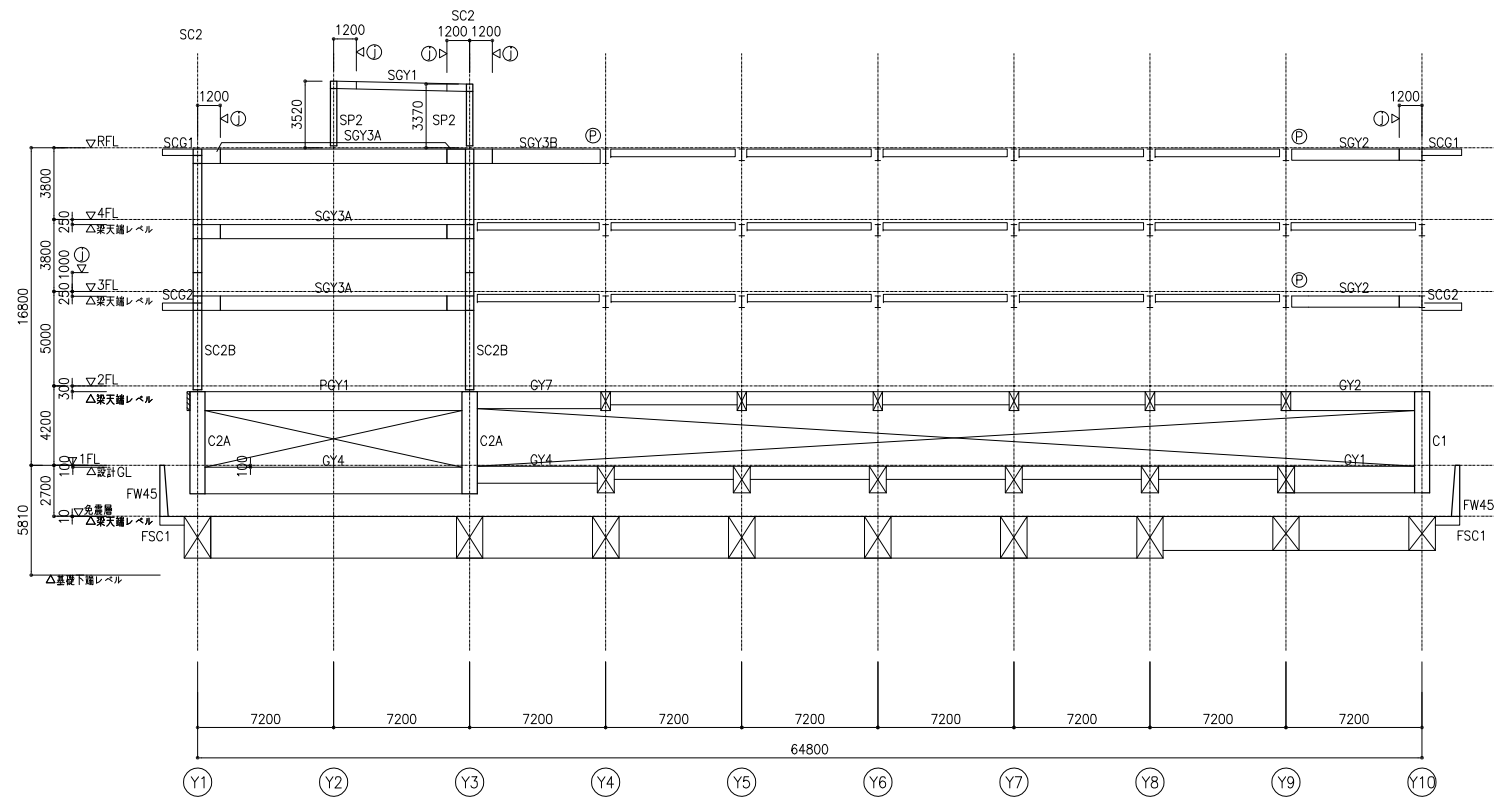
X8通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



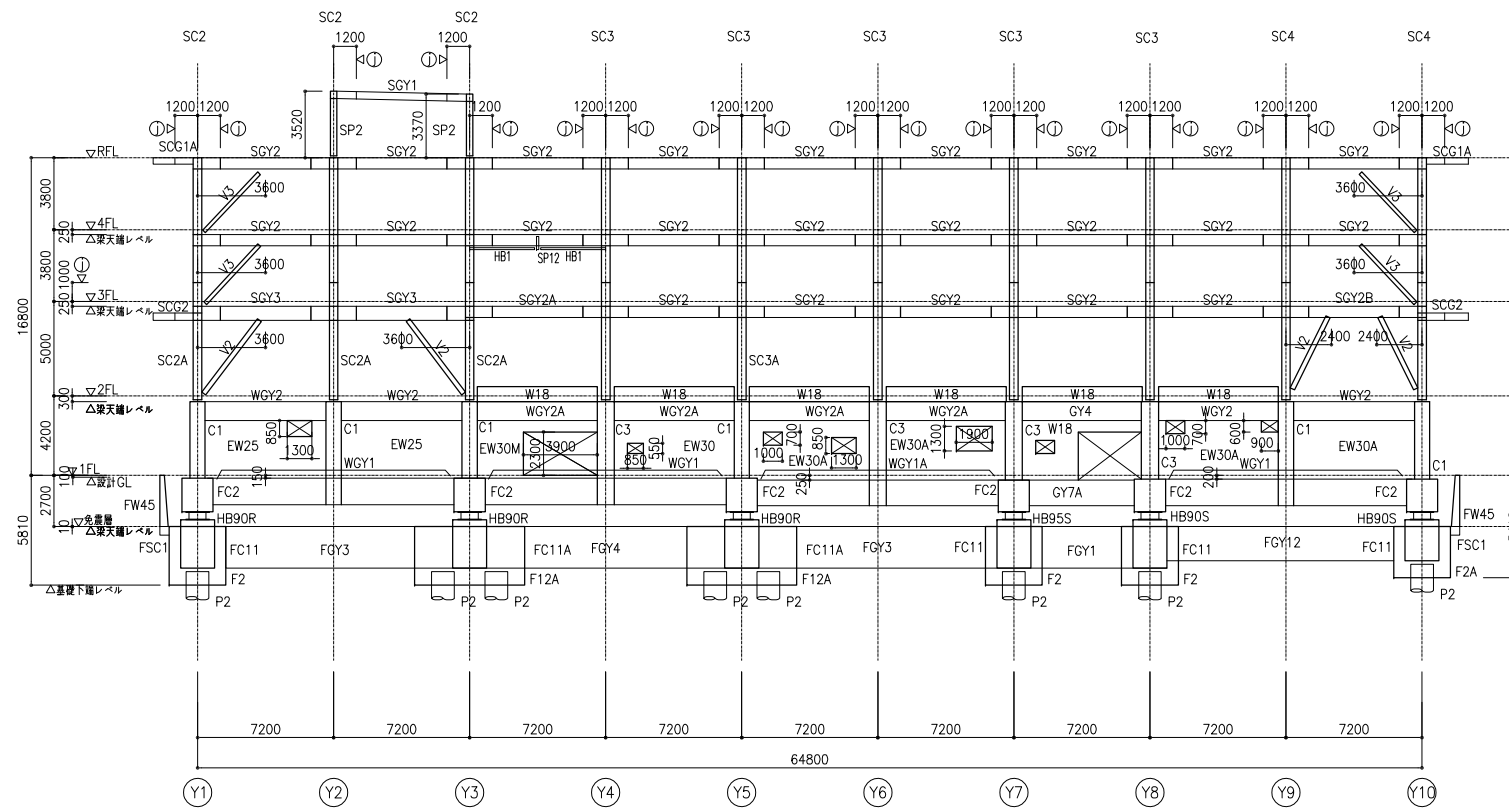
X9通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



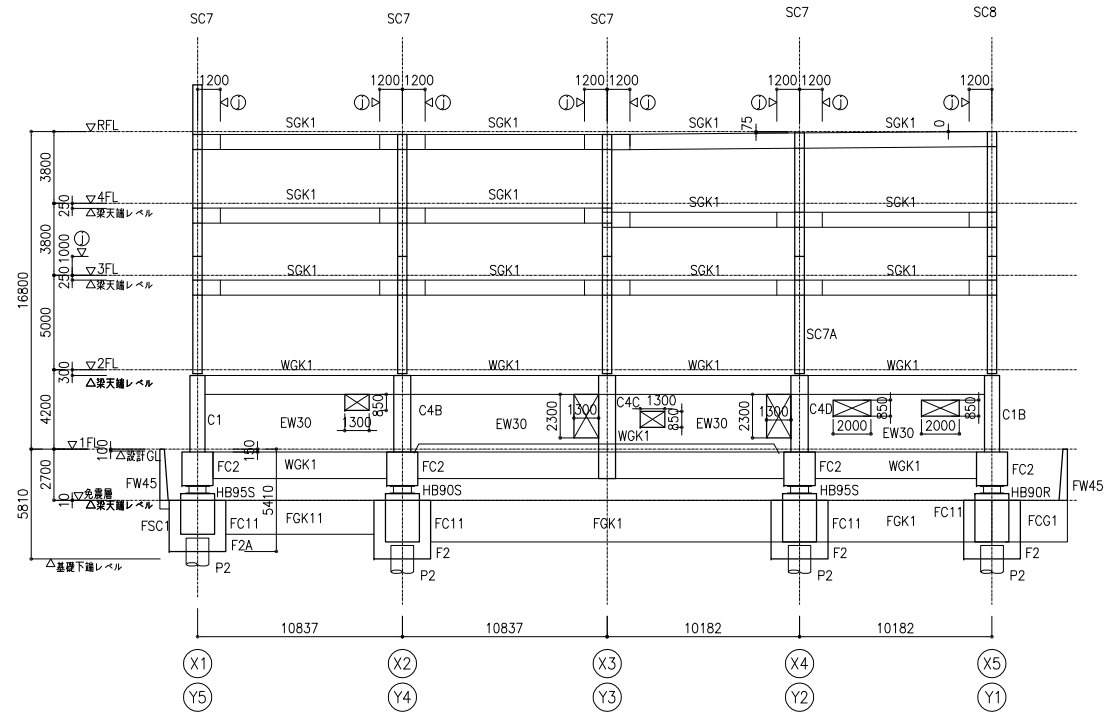
X10通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



X11通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。



K1通り軸組図

- 特記事項 (特記なき限り下記による。)
1. は増し打ちを示す。
  2. は継手位置を示す。
  3. 片持ち梁の出寸法は伏図による。
  4. は端部ピン接合部を示す。
  5. フレーム内の小梁符号は伏図に示す。

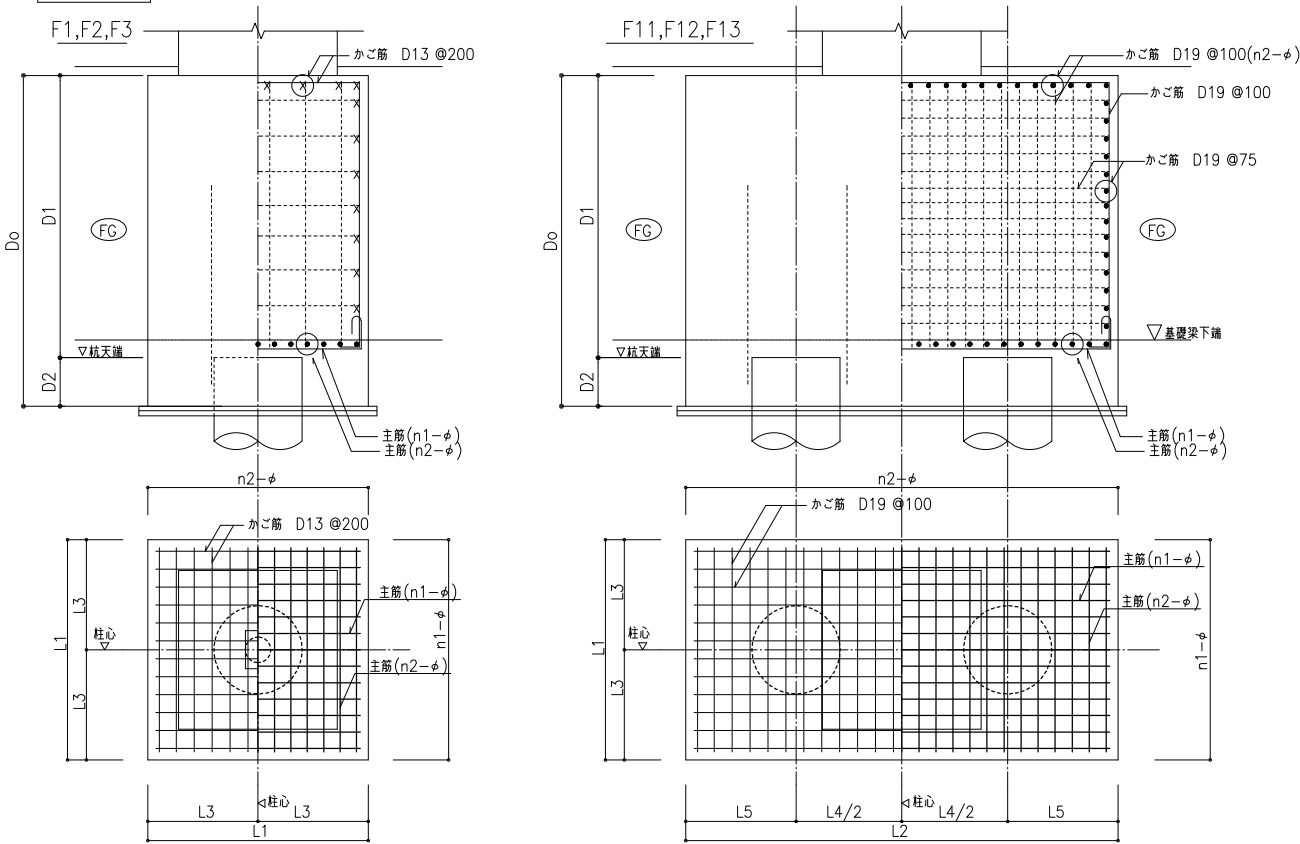
フーチングリスト

特記なき限り下記とする

1. 基礎の寄り方向、向きは、基礎伏図を参照のこと
2. 砕石50mm、砂石60mmとする
3. 基礎下端鉄筋のかぶり厚さは、杭天端から確保する。
4. 副基礎下端鉄筋補強は全ての杭1本ずつについて具図に施す。
5. 鉄筋材質「D10~D16: SD295A, D19~D25: SD345, D29~: SD390」

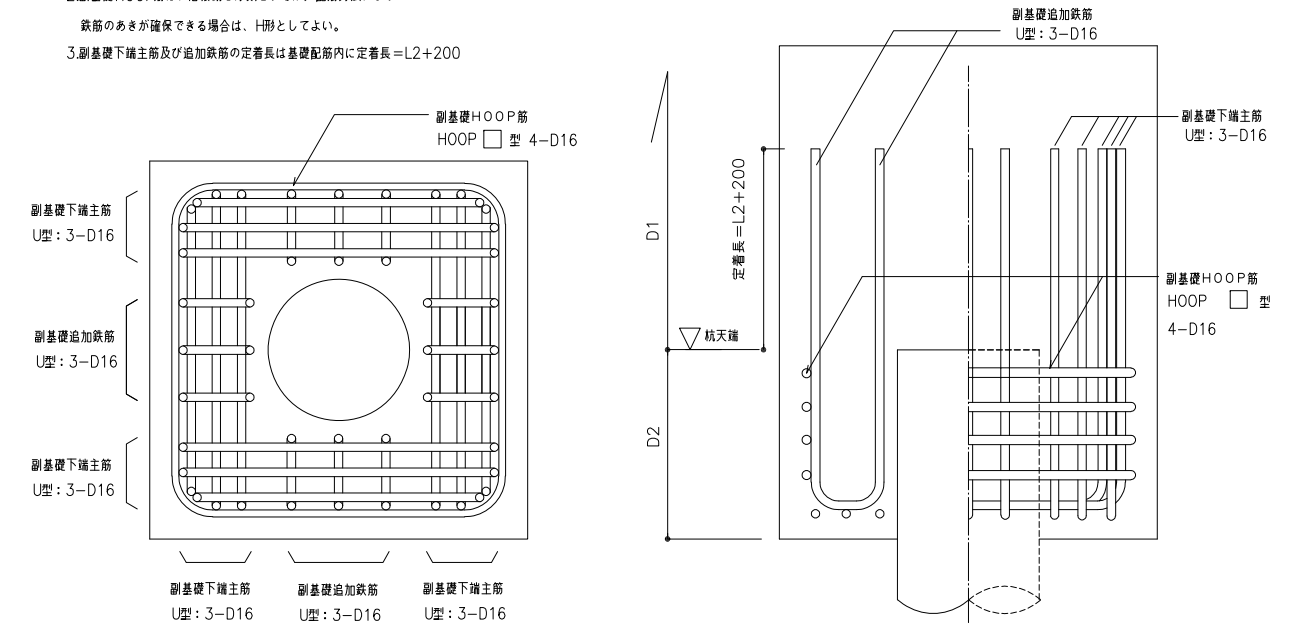
符号	軸部径程 [mm]	Do [mm]	D1 [mm]	D2[mm] <精進長さ>	L1 [mm]	L2 [mm]	L3 [mm]	L4 [mm]	L5 [mm]	n1-φ	n2-φ	備考
F1(F1A)	1100	3100(2700)	2400(2000)	700	2750		1375			14-D16	14-D16	( )内はF1Aを示す。
F2(F2A)	1200	3100(2700)	2400(2000)	700	3000		1500			16-D16	16-D16	( )内はF2Aを示す。
F3(F3A)	1200	3100(2700)	2400(2000)	700	3000		1500			16-D16	16-D16	( )内はF3Aを示す。
F11(F11A)	1100	3100(2700)	2400(2000)	700	2750	5335	1375	2585	1375	14-D19	D19@100	( )内はF11Aを示す。
F12(F12A)	1200	3100	2400	700	3000	5820	1500	2820	1500	16-D19	D19@100	F12AはF12を90度回転
F13	1200	2700	2000	700	3000	5820	1500	2820	1500	16-D19	D19@100	

基礎リスト

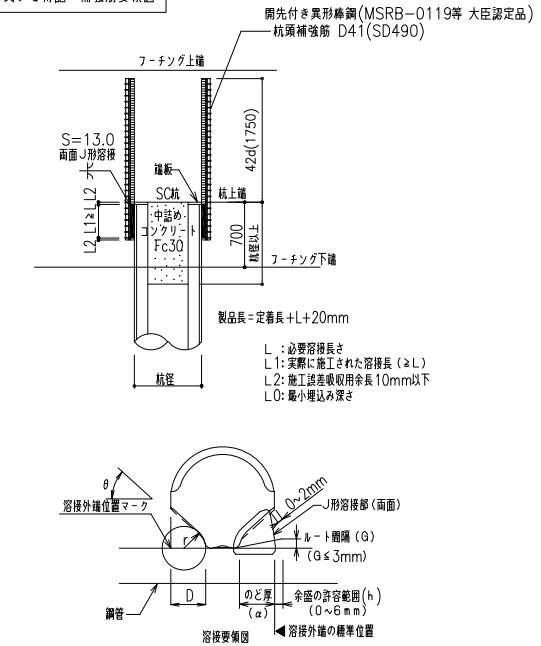


副基礎鉄筋要領図

1. 副基礎鉄筋は、複数杭の場合でも1本ずつ配置する。
2. 副基礎HOOP筋は、溶接継ぎを原則とするが、配筋方法により鉄筋のあき確保できる場合は、H形としてよい。
3. 副基礎下端主筋及び追加鉄筋の定着長は基礎配筋内に定着長=L2+200



杭頭補強に関する特記・補強筋要領図



必要溶接長さ(L)*1 有効溶接長さ+有効のど厚×2	杭の鋼材材質	
	400N/mm <sup>2</sup> 級	490N/mm <sup>2</sup> 級以上
WD35J	WD35J	200mm以上
	WD38J	180mm以上
WD41J	WD41J	220mm以上
	WD41J	190mm以上

余盛(h) (余盛位置マークまで溶接)	リブ表面からの許容範囲(h)	有効のど厚(α)	埋先深さ(D)	D <sup>2</sup> α
0mm≦h≦6mm	WD32J α=10mm WD35J α=10.5mm WD38J α=12.5mm WD41J α=13.0mm			

\*1 ただし、溶接長は溶接部の許容応力を用い、溶接部が生じる力に対して建築基準法に基づく計算により安全性を確保した場合は上記以外の寸法にできる。

【共通】特記なき限り下記とする

1. 鉄筋材質 D10~D16: SD295A, D19~D25: SD345, D29~: SD390
2. 砕石厚さ: 60. 捨てコンクリート厚さ: 150とする。
3. 巾止め筋は、D10-@1000とする。

基礎梁リスト

符号	FGX1	FGX2	FGX3	FGX4	FGX5	FGX11	FGX12	FGX13	FGX14
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面									
B x D	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x1,800	1,400x1,800	1,400x1,800	1,400x1,800
上端筋	12-D38	17-D38	18-D38	26-D38	30-D38	12-D38	17-D38	21-D38	28-D38
下端筋	10-D38	14-D38	14-D38	22-D38	24-D38	12-D38	16-D38	15-D38	24-D38
筋	D16-□-@200	D16-□-@200	D16-□-@200	D16-□-@100	D16-□-@100	D16-□-@200	D16-□-@100	D16-□-@200	D16-□-@100
腰筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13
符号	FGY1	FGY2	FGY3	FGY4	FGY11	FGY12	FGY13	FGK1	FGK11
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面									
B x D	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x2,200	1,400x1,800	1,400x1,800	1,400x1,800	1,400x2,200	1,400x1,800
上端筋	12-D38	14-D38	20-D38	28-D38	12-D38	20-D38	28-D38	16-D38	16-D38
下端筋	10-D38	10-D38	12-D38	24-D38	12-D38	15-D38	24-D38	10-D38	10-D38
筋	D16-□-@200	D16-□-@200	D16-□-@200	D16-□-@100	D16-□-@200	D16-□-@200	D16-□-@100	D16-□-@200	D16-□-@200
腰筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	6-D13	6-D13	6-D13	8-D13	6-D13

基礎小梁リスト

符号	FB1	FB2		FB3	FB11
位置	全断面	端部	中央	全断面	全断面
断面					
B x D	350x2,200	700x2,200		450x800	350x1,800
上端筋	3-D22	9-D25	9-D25	4-D22	3-D22
下端筋	3-D22	9-D25	14-D25	4-D22	3-D22
筋	D13-□-@200	D13-□-@150		D13-□-@200	D13-□-@200
腰筋	8-D13	8-D13		2-D13	6-D13

基礎小梁リスト

符号	FCG1
位置	全断面
断面	
B x D	900x2,200
上端筋	8-D38
下端筋	6-D38
筋	D13-□-@200
腰筋	8-D13

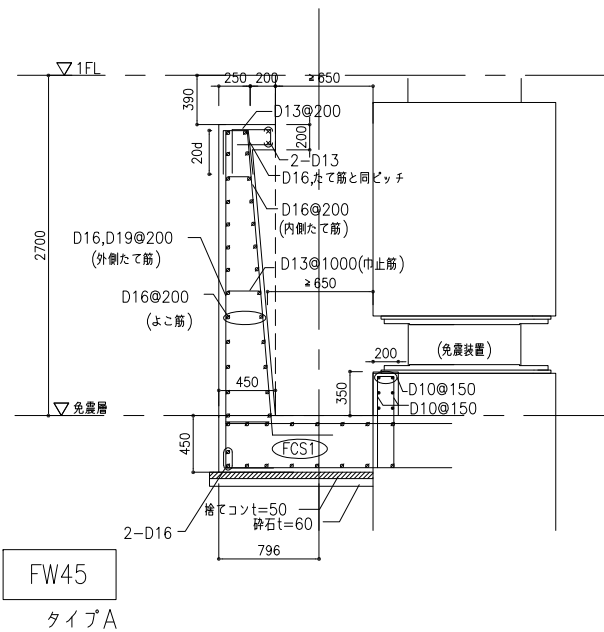
擁壁リスト

特記なき限り下記とする

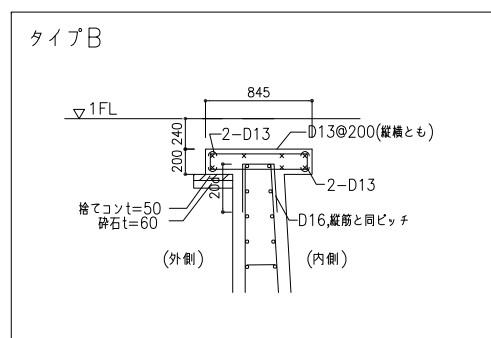
1. 鉄筋の定番長さはL2、継手長さはL1とする。
2. 地業：捨てコンクリート@50  
砕石@60

3. 材料

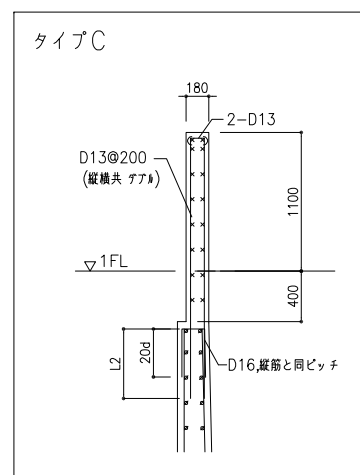
部 位	鉄筋径	鉄筋種別
鉄 筋	D10~D16	SD295A
	D19~D25	SD345
	D29~D35	SD390



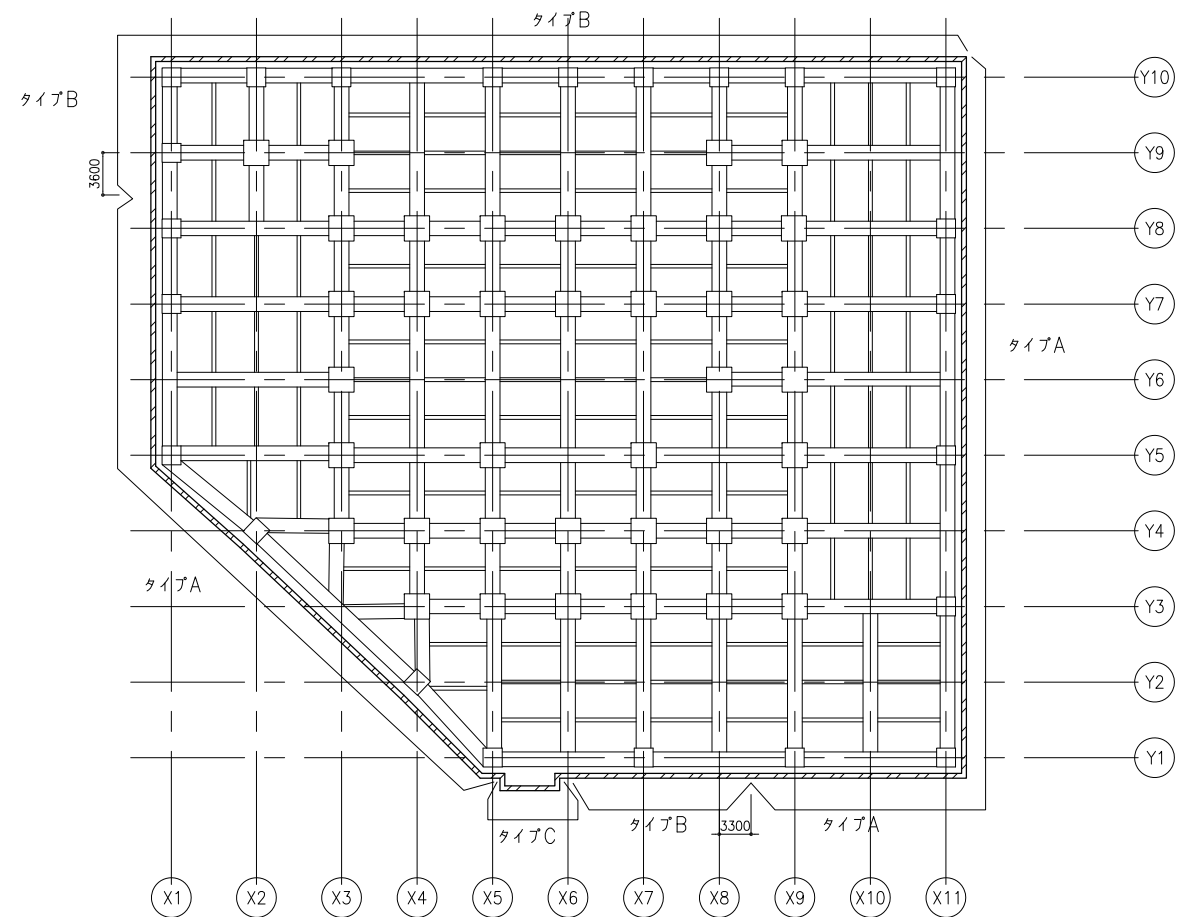
擁壁上部配筋詳細図



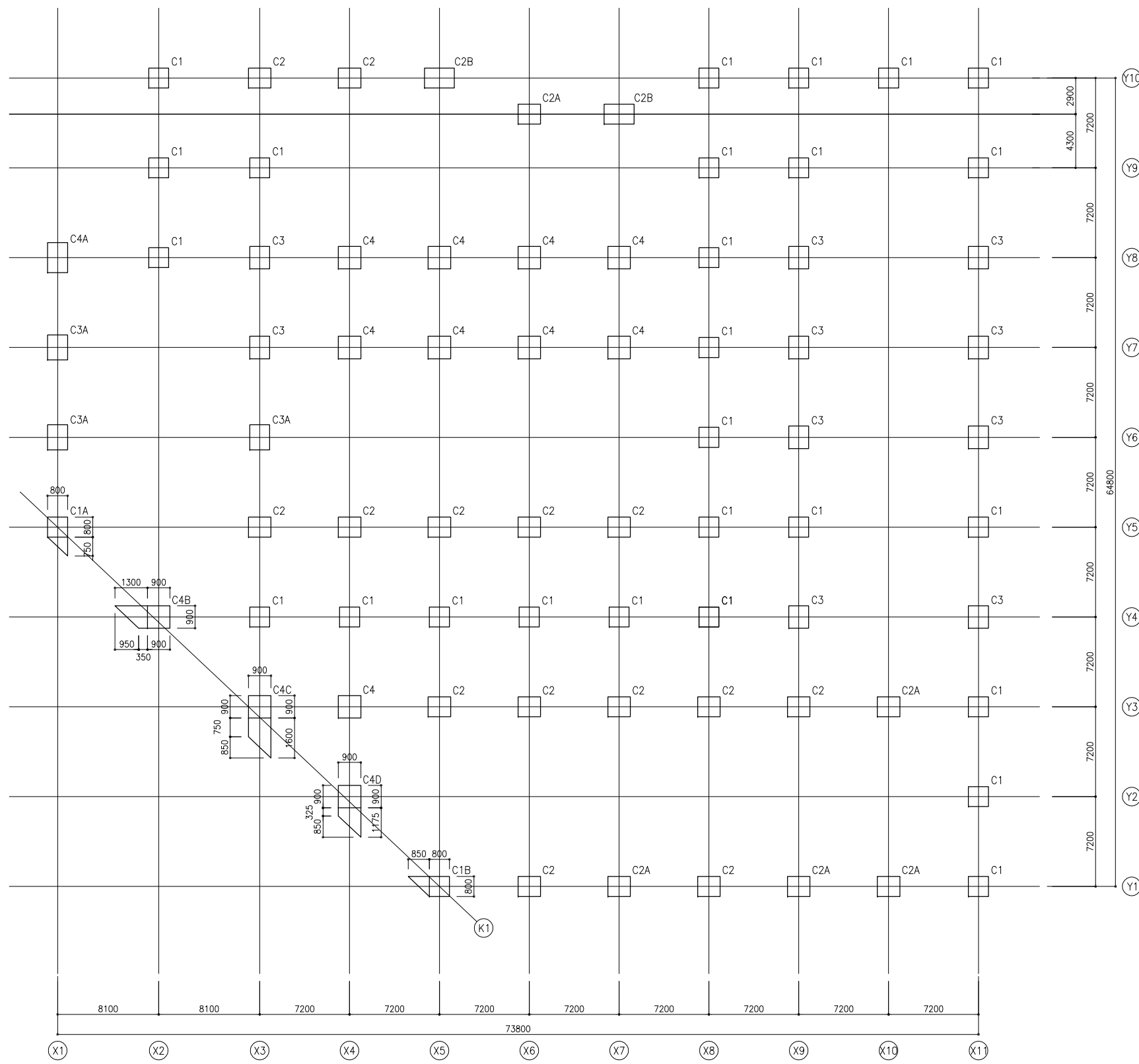
上部配筋以外はタイプAと同様の配筋とすること。



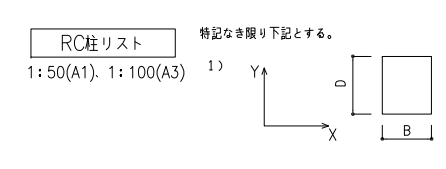
上部配筋以外はタイプAと同様の配筋とすること。







**RC柱芯線図**  
 特記なき限り下記とする。  
 ・ 通芯寸法は 1: 200(A1), 1: 400(A3)とする。  
 ・ 柱寸法は 1: 100(A1), 1: 200(A3)とする。  
 ・ 寸法記載の柱は柱芯=通り芯とする。



2) 鉄筋の区分

部位	鉄筋径	鉄筋種別
主筋	D16	SD295A
	D19~D25	SD345
	D29~	SD390
筋筋	D10~D16	SD295A
震害防止筋	D10	SD295A

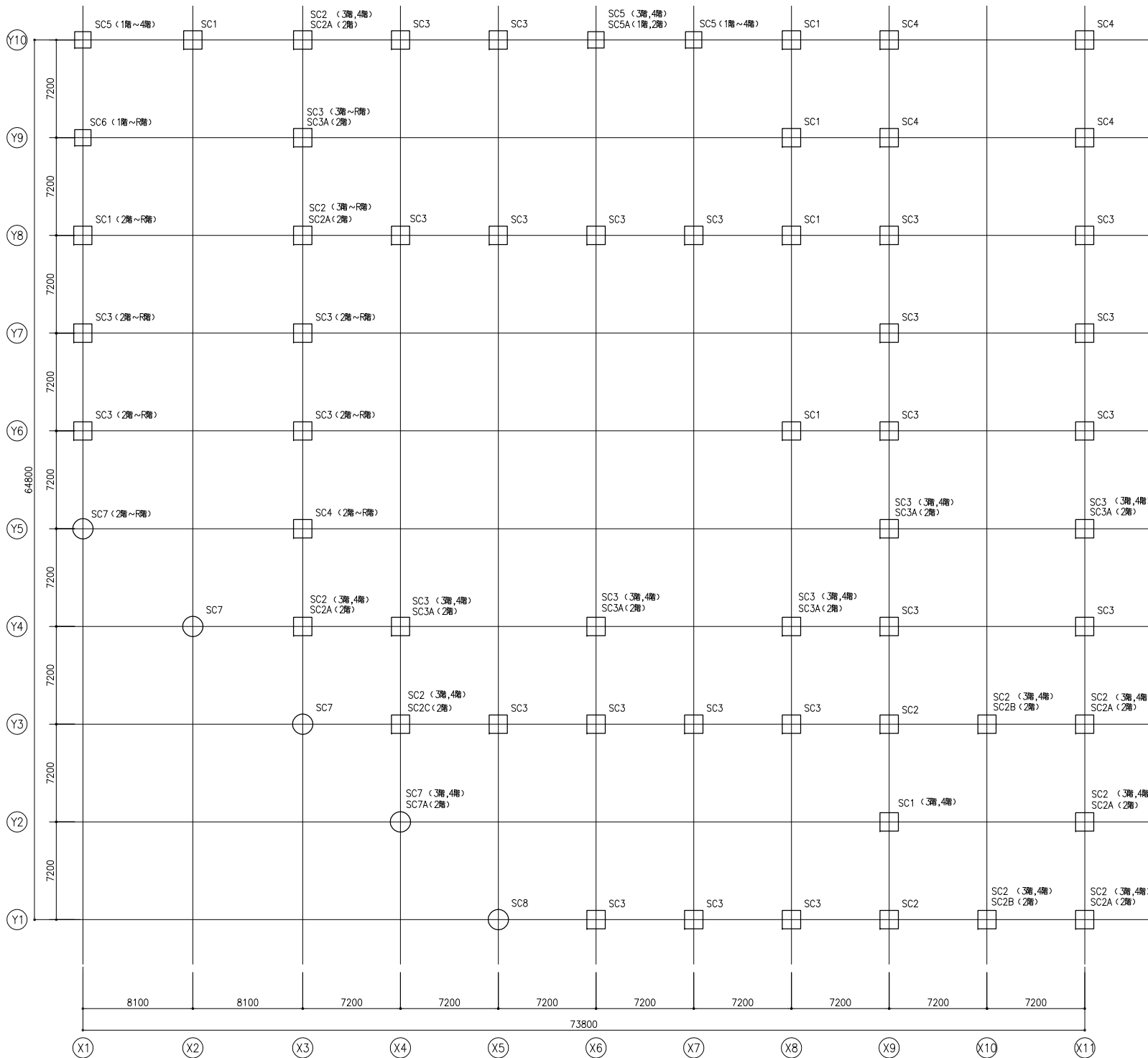
3) 最上階の四隅の主筋には180度フックを設けること。  
 4) ~<は寄せ筋を示す。

階	符号	C1	C2	C4	C4A
1F	接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	断面				
	B x D	800x800	900x800	900x900	800x1200
	主筋	28-D32	20-D32	28-D32	36-D32
	帯筋	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100
接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	

階	符号	C3	C3A	C2A	C2B
1F	接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	断面				
	B x D	800x900	800x1000	900x800	1200x800
	主筋	20-D32	24-D32	20-D32	28-D32
	帯筋	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100
接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	

階	符号	C1A	C1B
1F	接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100
	断面		
	B x D	上図による	上図による
	主筋	28+8-D32	28+8-D32
	帯筋	D13-田-@100	D13-田-@100
接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	

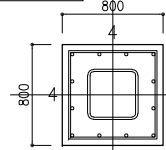
階	符号	C4B	C4C	C4D
1F	接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100
	断面			
	B x D	上図による	上図による	上図による
	主筋	28+19-D32	28+17-D32	28+13-D32
	帯筋	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100
接合部帯筋	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	



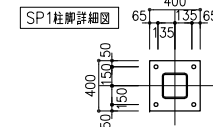
鉄骨柱芯線図

- 特記なき限り下記とする
- ・ 縮尺は 1:200(A1), 1:400(A3)とする。
  - ・ 柱寸法は 1:100(A1), 1:200(A3)とする。
  - ・ 柱芯=通り芯とする。
  - ・ 取付柱は 2階~4階とする。

SC5A縦書き部分断面図



縦書き柱脚 柱型:800x800x2100  
主筋:12-D29,hoop:2-D13@100



鉄骨柱リスト

特記なき限り下記とする。  
 ・ ○はSTKN490BH, □はBCR295材とする。 ・ A.BOLTの材料はSNR490。定着長は30d。二重ナット締めとする。 ・ B.PL下端の位置は取付く大梁の天端レベルから+30とする。  
 ・ B.PLの材料はSN490Cとし、t≥40の場合、TMCP325Cとする。 ・ A.Bolt位置は柱・梁主筋・PC定着具との干渉を考慮し、配筋・Bolt詳細位置は監理者と協議して決定すること。

	SC1	SC2	SC2A	SC2B	SC2C	SC3	SC3A
R階	□-450x450x16	□-450x450x19				□-450x450x25	
4階	□-450x450x16	□-450x450x19				□-450x450x25	
3階	□-450x450x16	□-450x450x22				□-450x450x25	
2階	□-450x450x16	□-450x450x22	□-450x450x22	□-450x450x22	□-450x450x22	□-450x450x25	□-450x450x25
1階							
A.BOLT	12-M33	8-M33	12-M33	12-M33	22-M33	8-M33	12-M33
B.PL	700x700x45	700x700x45	700x700x40	1270x700x45	700x1270x40	700x700x45	700x700x40
Rib.PL	-	-	-	-	-	8-PL40x125xH200	-
形状							
備考							

	SC4	SC5	SC5A	SC6	SC7	SC7A	SC8
R階	□-450x450x12			□-400x400x16	○-508x16		
4階	□-450x450x12	□-400x400x16		□-400x400x16	○-508x16		○-508x19
3階	□-450x450x12	□-400x400x19		□-400x400x25	○-508x16		○-508x22
2階	□-450x450x16	□-400x400x19	□-400x400x19	□-400x400x19	○-508x19	○-508x19	○-508x22
1階		□-400x400x19	□-400x400x19	□-400x400x19			
A.BOLT	12-M33	8-M33	4-M24	8-M33	12-M33	16-M33	8-M33
B.PL	700x700x40	700x700x50	600x600x25	700x700x50	700x700x40	700x890x40	700x700x40
Rib.PL	-	8-PL40x125xH200	-	8-PL40x125xH200	-	-	-
形状							
備考			A.Bolt:SNR400				

鉄骨周柱リスト

・材質はBCR295材とする。 ・ A.BOLTの材料はSS400。定着長は30d。二重ナット締めとする。  
 ・ B.PLの材料はSS400とする。 ・ B.PL下端の位置は取付く大梁の天端レベルから+30とする。

	断面	備考
SP1	□-200x200x9	B.PL-400x400x16 A.Bolt 4-M20
SP2	□-350x350x12	G.PL-28 S.PL-28 H.T.B 4x2-M20 差きPL-28x400x400

柱の細長比の一覧を下表に示す。

	4F	3F	2F			
			SC*A	SC*A	SC*B	SC*C
SC1	25.9	24.9	30.8	-	-	-
SC2	27.2	24.5	31.5	29.9	33.3	29.9
SC3	27.8	26.7	31.2	31.3	-	-
SC4	25.4	25.4	29.5	-	-	-
SC5	38.6	27.9	<b>64.2</b>	<b>63.4</b>	-	-
SC6	34.8	29.3	<b>66.7</b>	-	-	-
SC7	30.6	25.1	30.8	32.9	-	-
SC8	27.2	26.7	32.0	-	-	-

※SC5,SC5A,SC6は1~2Fの通し部材

特記なき限り下記とする。

1. 鉄筋種別：D10~D16:SD295A, D19~D25:SD345, D28~D32:SD390
2. 中止め筋はD10-@100以内とする。
3. Y方向(GY\*)主筋を先組み、X方向(GX\*)主筋を後組みとする。

1FL	符号	GX1	GX1A	GX2	GX2A	GX2C	GX3	GX3A	GX3B	GX4C	GX5C
	位置	全断面									
断面											
B x D		900x1,400	900x1,350	900x1,400	900x1,350	900x1,250	900x1,400	900x1,350	900x1,300	1,000x1,250	1,200x1,250
上端筋		8-D32	8-D32	12-D32	12-D32	12-D32	13-D32	12-D32	14-D32	18-D32	11-D32
下端筋		8-D32	8-D32	8-D32	8-D32	8-D32	12-D32	10-D32	14-D32	14-D32	8-D32
肋筋		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@100	D13-□-@200
腰筋		6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10

1FL	符号	GY1	GY1A	GY2	GY2A	GY4	GY4A	GY5	GY5A	GY5C
	位置	全断面								
断面										
B x D		900x1,400	900x1,350	900x1,400	900x1,350	1,000x1,400	900x1,350	900x1,400	900x1,350	900x1,250
上端筋		8-D32	8-D32	16-D32	16-D32	20-D32	16-D32	12-D32	12-D32	16-D32
下端筋		8-D32	8-D32	10-D32	10-D32	20-D32	15-D32	10-D32	10-D32	10-D32
肋筋		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@100	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200
腰筋		6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10

1FL	符号	GY6A	GY6C	GY7A	GY7C	GY8	WCX1	WCX1A	WCX2	WCX2A
	位置	全断面								
断面										
B x D		1,200x1,350	1,200x1,250	1,200x1,350	1,200x1,250	800x1,400	1,200x1,400	1,200x1,350	900x1,400	900x1,350
上端筋		20-D32	20-D32	24-D32	24-D32	7-D32	16-D32	20-D32	14-D32	10-D32
下端筋		20-D32	20-D32	24-D32	24-D32	7-D32	16-D32	16-D32	14-D32	13-D32
肋筋		D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@100	D13-□-@200	D13-□-@150	D13-□-@100	D13-□-@200	D13-□-@200
腰筋		6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10

1FL	符号	WCX2B	WCX3	WGY1	WGY1A	WGY2	WGY2C	WGX1
	位置	全断面						
断面								
B x D		900x1,300	825x1,400	1,200x1,400	1,200x1,350	1,200x1,400	1,200x1,250	1,200x1,400
上端筋		13-D32	9-D32	17-D32	15-D32	12-D32	12-D32	15-D32
下端筋		13-D32	9-D32	20-D32	15-D32	12-D32	12-D32	12-D32
肋筋		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150	D13-□-@150
腰筋		6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10

大梁リスト-2

特記なき限り下記とする。

1. 鉄筋種別：D10~D16:SD295A, D19~D25:SD345
2. 中止め筋はD10-@100以内とする。

3. Y方向(GY\*など)主筋を先組み、X方向(GX\*)主筋を後組みとする。
4. ハンチ長さは柱面から1800mmとする。

2FL	符号	GX1	GX3	GX3A	GX4	GX5		GX6		GX7	GX8	GX9
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	端部	中央	X1,X4端	中央・他端	全断面	全断面	全断面
	断面											
	B x D	375x1,000	550x1,000	550x1,000	550x1,000	450x1,000		550x1,200	550x900	550x900	650x1,000	450x1,000
	上端筋	8-D25	6-D25	12-D25	5-D25	10-D25	10-D25	12-D25		11-D25	10-D25	10-D25
	下端筋	4-D25	6-D25	8-D25	5-D25	5-D25	6-D25	6-D25		6-D25	10-D25	10-D25
	肋筋	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@100
	腰筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10		6-D13		4-D10	4-D10	4-D10

2FL	符号	GY1	GY2	GY4	GY5	GY6	GY6A	GY7		GY8	GY9
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	Y3端	中央・他端	全断面	全断面
	断面										
	B x D	375x1,000	375x1,000	650x1,000	700x1,000	500x900	400x1,000	550x900		450x1,000	550x1,000
	上端筋	4-D25	8-D25	13-D25	16-D25	9-D25	6-D25	9-D25	6-D25	10-D25	14-D25
	下端筋	4-D25	5-D25	6-D25	16-D25	6-D25	4-D25	6-D25	6-D25	10-D25	14-D25
	肋筋	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200		D13-□-@100	D13-□-@100
	腰筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10		4-D10	4-D10

2FL	符号	WGK1	WGK1	WGK1A	WGK2	WGK2A	WGK2B	WGK3	WGY1	WGY2	WGY2A
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面										
	B x D	550x1,000	550x1,000	550x1,000	550x1,000	550x1,000	550x1,000	550x750	550x1,000	550x1,000	550x1,000
	上端筋	8-D25	5-D25	8-D25	5-D25	8-D25	10-D25	9-D25	5-D25	6-D25	9-D25
	下端筋	6-D25	5-D25	10-D25	5-D25	7-D25	10-D25	9-D25	5-D25	6-D25	9-D25
	肋筋	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@100	D13-□-@100
	腰筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10	4-D10	4-D10	4-D10

2FL	符号	CG1
	位置	全断面
	断面	
	B x D	650x1,000
	上端筋	14-D25
	下端筋	7-D25
	肋筋	D13-□-@200
	腰筋	4-D10

RC小梁リスト

特記なき限り下記による。

1. 鋼材は、D10~D16:SD295A D19~D25:SD345. D29:SD390 とする。2. 巾止筋は、D10-@1000以下とする。

符号	B1	B2	B3	B4	B4A		B4B		B5	B6	B7	B11
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	連梁端	他端・中央	両端	中央	全断面	全断面	全断面	全断面
断面												
B x D	300x500	300x650	300x700	300x800	300x800		300x800		375x1,000	500x1,000	300x1,500	350x800
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D22	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	6-D22	3-D22	3-D22
筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200		D10-@200		D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200
腰筋	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10	4-D10		4-D10		6-D10	6-D10	8-D10	4-D10

床スラブリスト

特記なき限り下記による。

1. 鉄筋材質「D10~D16:SD295A D19~D25:SD345」
2. 土に接するスラブの地業は、捨てコン50. 砕石60とする。
3. 捨て型枠フラットデッキ仕様(デッキ高さ75. 板厚1.2)とする。
4. 符号名「GDS1」スラブはデッキ複合スラブを示し、断面リストはS-56に示す。

記号	厚さ	位置	短辺方向	長辺方向	備考
S1,DS1	150	上端筋	D10 D13 - @200	D10 - @200	
		下端筋	D10 - @200	D10 - @200	
S2,DS2	150	上端筋	D10 D13 - @200	D10 D13 - @200	
		下端筋	D10 - @200	D10 - @200	
S3,DS3	150	上端筋	D13 - @200	D10 - @200	
		下端筋	D10 - @200	D10 - @200	
S4,DS4	150	上端筋	D13 - @200	D10 D13 - @200	
		下端筋	D10 D13 - @200	D10 - @200	
S5,DS5	150	上端筋	D13 - @150	D10 D13 - @150	
		下端筋	D10 D13 - @150	D10 - @150	
S6	250	上端筋	D13 - @150	D13 - @150	
		下端筋	D13 - @150	D13 - @150	
CS1	150	上端筋	D13 - @200	D10 - @200	短辺方向:主筋方向 長辺方向:配筋方向
		下端筋	D10 - @200	D10 - @200	
CS2	200	上端筋	D13 - @100	D10 - @100	短辺方向:主筋方向 長辺方向:配筋方向
		下端筋	D10 - @100	D10 - @100	
FS1	250	上端筋	D16 - @200	D16 - @200	捨てコン150. 砕石60
		下端筋	D16 - @200	D16 - @200	
FS2	250	上端筋	D16 D19 - @200	D16 D19 - @200	捨てコン150. 砕石60
		下端筋	D16 D19 - @200	D16 D19 - @200	
FS3	350	上端筋	D16 D19 - @200	D16 D19 - @200	捨てコン150. 砕石60
		下端筋	D16 D19 - @200	D16 D19 - @200	
FCS1	450	上端筋	D16 D19 - @100	D16 - @200	短辺方向:主筋方向 長辺方向:配筋方向
		下端筋	D16 - @100	D16 - @200	

壁立断面リスト

特記なき限り下記とする。

1. 鋼材は、D10~D16:SD295A D19~D25:SD345. D29:SD390 とする。
2. ダブル配筋の場合 1m<sup>2</sup> 毎に 1カ所以上 D10 の幅止め筋で内外筋を連結する。

符号	W16	W18,KW18	KW25	EW18(EW18M)	KEW18	EW18A(EW18B)	EW25	EW30(EW30M)	EW30A
断面									
壁厚	160	180	250	180	180	180	250	300	300
縦筋	D10-@200 タワム	D10D13-@200 タワム	D13-@200 タワム	D10D13-@200 タワム	D10D13-@200 タワム	D10D13-@100 タワム	D16-@200 タワム	D16-@200 タワム	D16-@100 タワム
横筋	D10-@200 タワム	D10D13-@200 タワム	D13-@200 タワム	D10D13-@200 タワム	D10D13-@200 タワム	D10D13-@100 タワム	D16-@200 タワム	D16-@200 タワム	D16-@100 タワム
開口補強筋	縦 2-D13 横 2-D13 斜 2-D13	縦 2-D13 横 2-D13 斜 2-D13	縦 2-D13 横 2-D13 斜 2-D13	縦 4-D13 横 4-D13(6-D19) 斜 3-D13(4-D13)	縦 4-D13 横 4-D13 斜 3-D13	縦 4-D13 横 4-D13(8-D19) 斜 3-D13	縦 4-D13 横 4-D13 斜 3-D13	縦 4-D16 横 4-D16(8-D16) 斜 3-D16(4-D16)	縦 4-D16 横 4-D16 斜 3-D16
備考		KW18は縦筋を外側とする		( )内は、EW18Mを示す。		( )内は、EW18Bを示す。		( )内は、EW30Mを示す。	

RC階段リスト

特記なき限り下記とする。

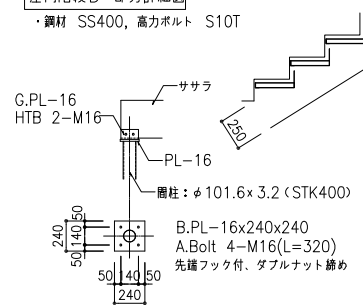
1. 鉄筋材質「D10~D16:SD295A」

KA <片持形階段・両側支持階段>				KB <一方向版階段>			
記号	厚(t)	主筋	備考	記号	厚(t)	床版主筋(上下とも)	備考
KA1	180	2-D13	L≦2100	KB1	180	D10D13-@100	L≦3000
KA2	150	1-D13	L≦1150				
KA3	150	1-D13	L≦1450				

鉄骨階段リスト

SK (プレート階段)			
記号	ササラPLせい:B	ササラPL厚さ:t1	備考
SK1	300	16	G.PL-16,HTB 2-M16,A.Bolt 2-M20(L=400)
SK2	300	16	G.PL-16,HTB 2-M16,A.Bolt 2-M20(L=400)
SK3	250	16	G.PL-16,HTB 2-M16,A.Bolt 2-M20(L=400),横太:FB-16x50@200
SK4	300	16	G.PL-16,HTB 2-M16,A.Bolt 2-M20(L=400),横太:FB-16x50@200

屋内階段D 部分詳細図



鉄骨大梁リスト

特記なき限り下記とする

- H, SH はSN400B材、(H), (SH)はSN490Bとする。
- ハンチ長さは柱面から1200mmとする。SGX3H,SGY3Hの形状は雑詳細図による。
- H はロールH形鋼、SH は外法一定H形鋼、BH はビルドアップH形鋼を示し、高炉メーカーを定めるものではない。
- 横補剛省略工法は採用した高炉メーカーの工法による。
- 使用ボルト及びGPLSPLBPLは、母材に準じた材質とする。
- 端部ピン接合部適用箇所は軸組図に記載の箇所とする。

階	符号	SGX1	SGX1A	SGX1H	SGX2	SGX2A	SGX2B	SGX3	SGX3A	SGX3H	SGX4	SGX5
1階	P+階	全断面 H-390x300x10x16			全断面 H-588x300x12x20							
	F階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	X9端 (H)-588x300x12x20 X8端中央 (H)-390x300x10x16 端部ピン接合部:G.PL-12 H.T.B 4-M20	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20		全断面 SH-750x300x16x32	全断面 (SH)-750x300x16x32	X9端中央 (BH)- 750x300x16x28 X11端 (BH)- 430x300x19x32	全断面 SH-600x250x16x32	
4階	P+階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	両端 (H)-588x300x12x20 中央 (H)-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20						
	F階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	両端 (H)-588x300x12x20 中央 (BH)-400x300x12x19	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20		全断面 SH-600x300x16x32	全断面 SH-750x300x16x32	X9端中央 (BH)- 750x300x19x40 X11端 (BH)- 350x300x19x40 端部ピン接合部:S.PL-22 H.T.B 6x2-M22	全断面 SH-600x250x16x32	全断面 (SH)-650x300x16x32
3階	P+階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16									
	F階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	両端 (H)-588x300x12x20 中央 (BH)-400x300x12x19	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20		全断面 SH-600x300x16x32	全断面 SH-750x300x16x32	X9端中央 (BH)- 750x300x19x40 X11端 (BH)- 350x300x19x40 端部ピン接合部:S.PL-22 H.T.B 6x2-M22	全断面 SH-600x250x16x32	全断面 (SH)-650x300x16x32

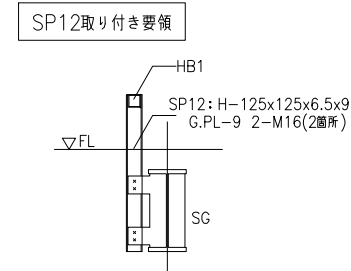
階	符号	SGY1	SGY1A	SGY2	SGY2A	SGY2B	SGY3	SGY3A	SGY3B	SGY3H	SGY5	SGK1
1階	P+階	全断面 H-390x300x10x16										
	F階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20	全断面 (SH)-600x300x12x28		全断面 (SH)-750x300x16x32	全断面 (SH)-750x350x16x36			全断面 H-588x300x12x20
4階	P+階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20	全断面 (SH)-600x300x12x28						
	F階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20	全断面 (SH)-600x300x12x28	全断面 SH-750x300x16x32	全断面 (SH)-750x300x16x32		X9端中央 (BH)- 750x300x19x32 Y10端 (BH)- 350x300x22x40 端部ピン接合部:S.PL-25 H.T.B 6x2-M22	全断面 (SH)-650x300x16x32	全断面 H-588x300x12x20
3階	P+階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20	全断面 (SH)-600x300x16x32	全断面 BH- 750x300x19x40	全断面 (SH)-750x300x16x32	全断面 (SH)-750x350x16x36			
	F階	全断面 H-390x300x10x16	全断面 (H)-390x300x10x16	全断面 H-588x300x12x20	全断面 (H)-588x300x12x20	全断面 (SH)-600x300x16x32	全断面 BH- 750x300x19x40	全断面 (SH)-750x300x16x32	全断面 (SH)-750x350x16x36			全断面 H-588x300x12x20

特記なき限り下記とする

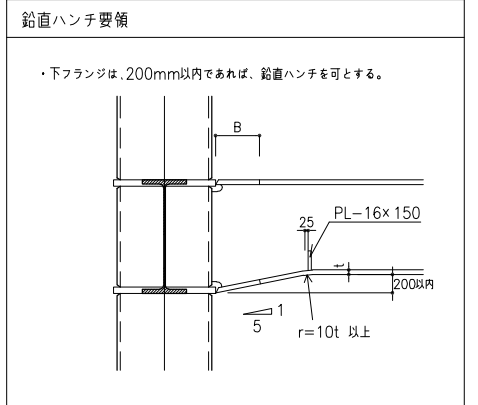
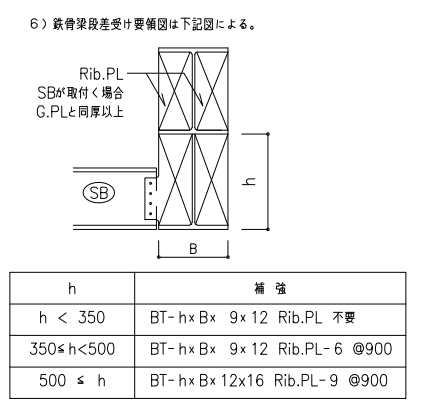
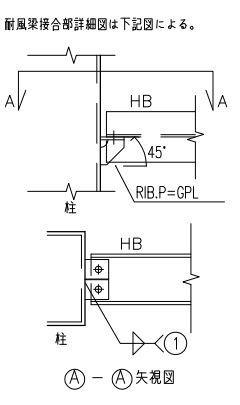
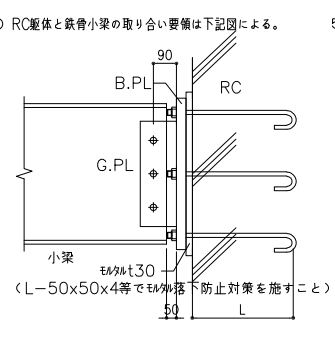
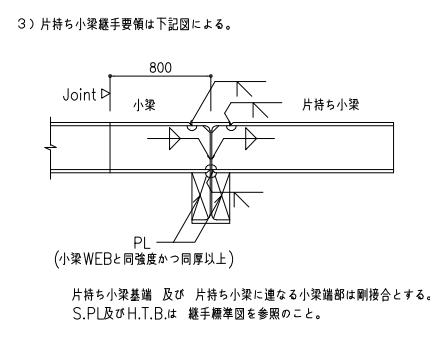
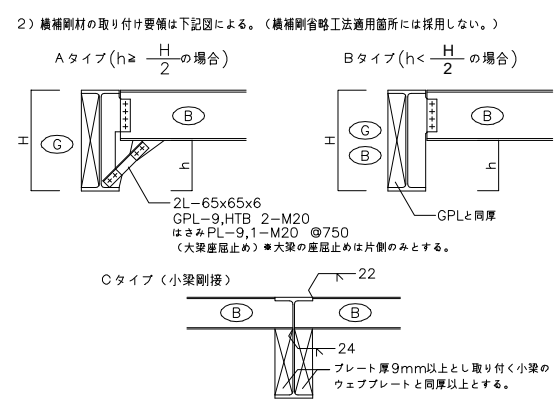
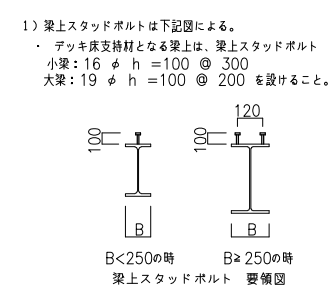
二次部材リスト

- 鋼種はSS400とする。
- H はロールH形鋼、SH は外法一定H形鋼、BH はビルドアップH形鋼を示す。
- 高力ボルトはS10Tとする。
- 使用ボルト及びGPLSPLBPLは、母材に準じた材質とする。
- 片持ち梁との建築端は剛接合とする。
- 外部に面する鉄骨部材については、溶融亜鉛めっきの上、高力ボルトはF8Tとする。
- A.Bolt はL=20d 先端フック付きダブルナット締め、SS400
- RC取合い部ベースモルタルは、t=30mmとする。

符号	断面	ガセットプレート	高力ボルト	備考	符号	断面	ガセットプレート	高力ボルト	備考
SB17	H-175x90x5x8	G.PL-9	2-M16	B.PL-16x200x200 A.Bolt 4-M16	SB200	H-200x200x8x12	G.PL-12	2-M20	B.PL-16x200x200 A.Bolt 4-M20
SB19	H-194x150x6x9	G.PL-9	2-M16		SB250	H-250x250x9x14	G.PL-12	3-M20	
SB20	H-200x100x5.5x8	G.PL-6	2-M16		SCG1	全断面 H-340x250x9x14			SN400B
SB25	H-250x125x6x9	G.PL-9	3-M16		SCG1A	全断面 H-340x250x9x14			SN490B
SB30	H-300x150x6.5x9	G.PL-9	3-M20	B.PL-16x350x200 A.Bolt 4-M20	SCG2	全断面 H-390x300x10x16			SN400B
SB35,SCB35	H-350x175x7x11	G.PL-9	4-M20	片持ち小梁端部は剛接合 SCB35はSN490材とする。	SCG3	全断面 H-350x175x7x11			SN400B
SB39,SCB39	H-390x300x10x16	G.PL-12	4-M20	片持ち小梁端部は剛接合	SCG4	全断面 H-440x300x11x18			SN490B
SB39A	H-390x300x10x16	G.PL-12	4-M20	SN490B	SCG6	全断面 H-200x200x8x12			SN400B
SB40	H-400x200x8x13	G.PL-9	4-M20						
SB44,SCB44	H-440x300x11x18	G.PL-12	5-M20	片持ち小梁端部は剛接合	V1	□-300x300x16x40			BCR295 継手要領は別途示す。
SB45	H-450x200x9x14	G.PL-12	5-M20		V2	□-250x250x12x30			BCR295 継手要領は別途示す。
SB50	H-500x200x10x16	G.PL-12	5-M20		V3	□-200x200x12x30			BCR295 継手要領は別途示す。
SB58	H-588x300x12x20	G.PL-16	6-M20		HV1	1-M20	G.PL-9	1-M20	ターンバックル付き JIS規格品
SB60	H-600x200x11x17	G.PL-12	6-M20		HB1	□-100x100x6x12			STKR400
SB70	H-700x300x13x24	G.PL-16	7-M20						
SB75	SH-750x300x16x32	G.PL-19	8-M20		SP10	φ101.6x3.2	G.PL-16	2-M16	STK400 B.PL-16x240x240 A.Bolt 4-M16
SB80	H-800x300x14x26	G.PL-16	8-M20		SP12	H-125x125x6.5x9	G.PL-9	2x2-M16	
SB85	SH-850x350x16x32	G.PL-19	9-M20		SP15	H-150x150x7x70	G.PL-9	2-M20	B.PL-16x200x200 A.Bolt 2-M20



共通事項



# 鉄骨梁継手リスト

## 継手における共通事項

- 継手表に示すボルト本数は、継手片側について示す。
- スプライスプレートの材質は母材に同じとする。
- 継手部のクリアランスは10mmとする。
- 継手部において母材の板厚差が1mmを超える場合は、フィワープレートにて調整する。  
(フィワープレートの材質はSS400とする。)
- 本図に示す高力ボルト規定は下記による。高力ボルトの品種はF10Tとする。

呼 径	標準ピッチ P	はしあき e	孔 径
M16	60	40	18.0φ
M20	60	40	22.0φ
M22	60	40	24.0φ

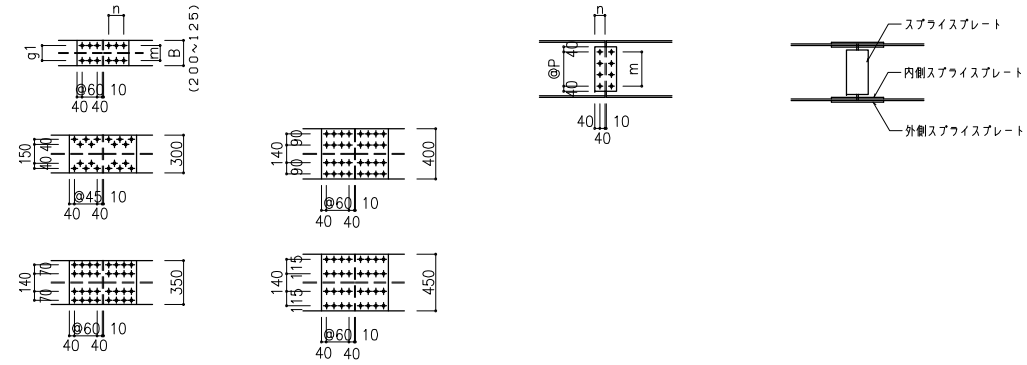
7. ダイアフラム板厚は、「溶接規準 Ⅴ-S-14」参照のこと。

8. 通しダイアフラム材質はSN490C、内ダイアフラム材質はSN490Bとする。

9. 高力ボルトのゲージは下記による。\*B=300は千鳥打ちとする。

B	g1	g2
125	75	—
150	90	—
175	105	—
200	120	—
250	150	—
300*	150	40
350	140	70
400	140	90
450	140	115

## 鉄骨形状



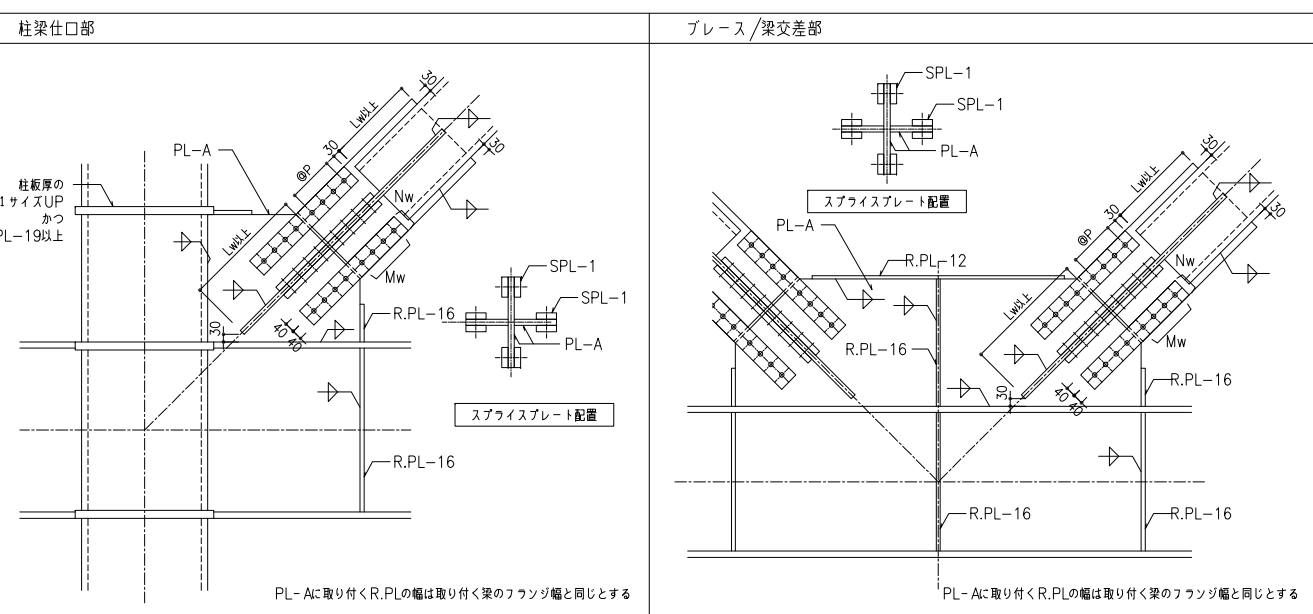
## 鉄骨継手リスト (SN400)

採用	梁 成	フランジ幅	ウェブ板厚	フランジ板厚	HTB		外側スプライスプレート	内側スプライスプレート	HTB		スプライスプレート	P	備 考
					N	径			N	径			
●	340	250	9	14	6	M22	PL-12x250x 410	2PL-12x100x 410	3	M22	2PL- 9x200x 170 (1列)	60	
●	400	200	8	13	6	M22	PL- 9x200x 410	2PL- 9x 80x 410	3	M22	2PL- 9x260x 170 (1列)	90	
●	390	300	10	16	6	M22	PL-12x300x 350	2PL-12x110x 350	3	M22	2PL- 9x260x 170 (1列)	90	
●	440	300	11	18	8	M22	PL-12x300x 440	2PL-12x110x 440	5	M22	2PL- 9x320x 170 (1列)	60	
●	588	300	12	20	8	M22	PL-12x300x 440	2PL-16x110x 440	7	M22	2PL- 9x440x 170 (1列)	60	
●	600	250	16	32	10	M22	PL-19x250x 650	2PL-22x100x 650	8	M22	2PL-12x440x290 (2列)	120	
●	700	350	16	32	16	M22	PL-25x350x 530	2PL-25x140x 530	10	M22	2PL-12x440x290 (2列)	90	
●	700	300	19	40	12	M22	PL-25x350x 620	2PL-25x140x 620	10	M22	2PL-12x440x290 (2列)	90	
●	350	175	7	11	4	M20	PL- 9x175x 290	2PL- 9x 70x 290	3	M20	2PL- 6x260x 170 (1列)	90	
●	600	300	16	32	18	M22	PL-22x300x890	2PL-22x110x890	12	M22	2PL-16x380x290 (2列)	60	
●	750	300	16	32	12	M22	PL-22x300x620	2PL-22x110x620	12	M22	2PL-12x530x290 (2列)	90	
●	750	300	19	40	12	M22	PL-25x300x620	2PL-25x110x620	20	M22	2PL-16x620x290 (2列)	60	

## 鉄骨継手リスト (SN490)

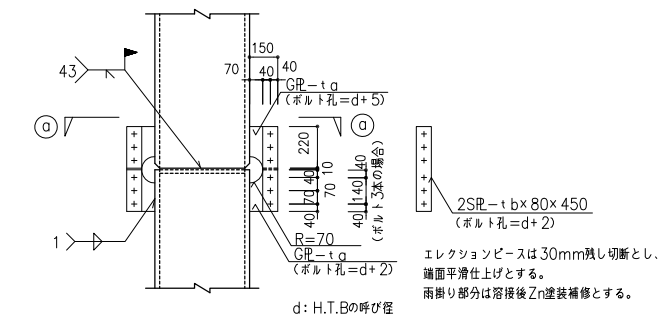
採用	梁 成	フランジ幅	ウェブ板厚	フランジ板厚	HTB		外側スプライスプレート	内側スプライスプレート	HTB		スプライスプレート	P	備 考
					N	径			N	径			
●	390	300	10	16	8	M22	PL-12x300x 440	2PL-12x110x 440	6	M22	2PL- 9x260x 290 (2列)	90	
●	588	300	12	20	10	M22	PL-12x300x 530	2PL-16x110x 530	10	M22	2PL- 9x440x 290 (2列)	90	
●	600	300	12	28	16	M22	PL-19x300x 800	2PL-22x110x 800	10	M22	2PL- 9x440x 290 (2列)	90	
●	600	300	16	32	18	M22	PL-22x300x 890	2PL-22x110x 890	12	M22	2PL-16x380x290 (2列)	60	
●	750	350	16	36	24	M22	PL-28x350x 770	2PL-28x140x 770	16	M22	2PL-16x500x290 (2列)	60	
●	750	300	14	25	14	M22	PL-19x300x 710	2PL-19x110x 710	14	M22	2PL-12x440x290 (2列)	90	
●	750	300	22	40	10	M22	PL-25x300x 650	2PL-25x110x 650	14	M22	2PL-12x440x290 (2列)	90	フランジHTBは1列とする。
●	650	300	16	32	16	M22	PL-22x300x 800	2PL-22x110x 800	14	M22	2PL-16x440x290 (2列)	60	
●	600	300	16	28	16	M22	PL-19x300x800	2PL-22x110x800	12	M22	2PL-16x380x290 (2列)	60	
●	750	300	16	28	16	M22	PL-19x300x800	2PL-22x110x800	16	M22	2PL-16x500x290 (2列)	60	
●	750	300	16	32	18	M22	PL-28x300x890	2PL-28x110x890	16	M22	2PL-16x500x290 (2列)	60	
●	750	300	19	40	12	M22	PL-25x300x620	2PL-25x110x620	20	M22	2PL-16x620x290 (2列)	60	

# 鉄骨ブレース継手リスト

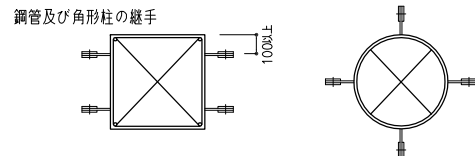


符号名	部 材 断 面	鉄骨材質	高力ボルト	Nw	Mw	P	E	SPL-1	PL-A	備 考
V1	□-300x300x16	BCR295	24-M22	1	6	60	-	2PL- 28 x 80 x 770	22	Lw=500. SN490B
V2	□-250x250x12	BCR295	20-M22	1	5	60	-	2PL- 25 x 80 x 650	22	Lw=420. SN490B
V3	□-200x200x12	BCR295	16-M22	1	4	60	-	2PL- 19 x 80 x 530	22	Lw=320. SN490B

## エレクションピース



## ①-①矢視図



柱の最大板厚t	GR-tg	2SPL-tb	H.T.B
t ≤ 19	GR-16	2SPL- 9	2-M20
19 < t ≤ 40	GR-19	2SPL-12	3-M20
40 < t	GR-22	2SPL-16	3-M22